KENWOOD

DDX675
DDX375

デュアルDINサイズDVDレシーバー

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド

LVT2508-001A (JN)

目次

安全上のご注意.........................4

使用上のご注意.........................6
本機の異常にお気づきのときは 6
本機のお手入れについて.....................6
オートアンテナ（電動アンテナ装備車）の
　操作について.....................................6
モニター画面について.........................6
免責事項について.................................6

共通の操作 7
各部の名称とはたらき.........................7
電源をオン/オフする...........................9
音量を調節する 9
ソースを切り替える.............................9
システムを設定する.............................9
画面操作と切り替えかた....................10

はじめの設定 12
初期設定をする 12
パネルの角度を調整する....................12
時計を合わせる 13

ラジオ 14
ラジオを聞く・操作する....................14
放送局を自動登録する
　（オートメモリー） 15
受信中の放送局を1つずつ登録する
　（プリセットメモリー） 16
登録した放送局を呼び出す.................16

CD 17
音楽CDを再生する 17

オーディオ/ビデオ/ピクチャ ファイルディスク..................18
ファイルを再生する............................18
設定を変更する 20
再生するファイルをリストで選択する...21

DVD 22
DVDビデオ/DVD-VRを再生する.........22
ディスクメニューを操作する 24
DVDセットアップメニューを
　表示する..25

ビデオCD...............................26
ビデオCDを再生する 26
曲番号を指定して選曲する.................27

USB..28
ファイルを再生する............................28
設定を変更する 30
再生するファイルをリストで選択する...31

iPod/iPhone 32
iPod/iPhoneを再生する......................32
設定を変更する 34
再生するファイルをリストで選択する...35
iPod/iPhoneから操作する..................36

AV外部ソース 37
外部ソースの音を聞く/映像を見る.......37
AV-INの名前を設定する 37

画面設定 38
画面を設定する 38
映像ソースの画質を調整する 39
画面モードを設定する........................40
ズームで画面を拡大する....................41

オーディオ設定............................42
オーディオを設定する............................42
フェーダー/バランスを設定する............43
プリセットイコライザーを設定する.......43
ユーザーイコライザーを設定する..........44
クロスオーバー周波数を変更する..........45
ソースの音量バランスをそろえる..........46
スピーカーの種類を設定する.................46

表示設定.......................................47
表示を設定する.......................................47
イルミネーション色を設定する..............48
背景画像を読み込み変更する.................49
ソースアイコンを好きな順番に並べる...50
画面の明るさを調節する.........................50

入力設定.......................................51
入力を設定する.......................................51
リアビューカメラを設定する.................52

システム設定................................53
システムを設定する................................53
設定を保存する/呼び出す.......................54
タッチ位置を調整する............................55
システムをアップデートする.................55

DVD言語コード表......................56
DVD言語コード表...................................56

ディスクについて........................57
本機で再生できるディスクメディア.......57
使用できるディスク................................57
結露について..57
ディスク用アクセサリーについて..........58
レンズクリーナーについて.....................58
ディスクの取り扱いについて.................58
ディスクのお手入れ................................58
ディスクの保存.......................................59
ディスクの取り出しかた.........................59
DVDのリージョン番号..........................59
操作規制マークについて.........................59

メディアおよびファイルについて...60
本機で再生できるメディア.....................60
本機で再生できるオーディオ/ビデオ/ピクチャーファイル..............62

iPod/iPhoneについて................63
本機でコントロールできるiPod/iPhoneについて......................63
接続ケーブルについて............................63

故障かな?と思ったら.................64

接続/取り付け..............................68
接続/取り付け上のご注意.......................68
接続手順..70
周辺機器の接続.......................................72
市販品の接続..73
本体の取り付け.......................................74

用語解説.......................................75

仕様..76

商標..78

保証とアフターサービス............79

安全上のご注意

- ご使用前に、以下の注意事項と「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。取扱説明書に記載されている注意事項が守られなかった場合は、事故などの深刻な問題が発生する可能性があります。
- お読みになった後は、いつでも見られる場所（車のグローブボックスなど）に必ず保管してください。

絵表示による注意

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

注 意	△ 記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。
禁 止	⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
実 施	● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な内容が描かれています。

⚠ 警告

交通事故防止のため、運転中は本機の操作を行わないでください。運転中に本機の操作を行うと、ハンドルから手が離れたり、道路状況への注意力が散漫になるなどして、交通事故などの原因になります。本機を操作するときは、必ず安全な場所に車を止めてから行ってください。

運転者は、画面に気を取られないでください。交通事故などの原因になります。
運転中に画面を見るときは必要最小限とし、注視するのは避けてください。

運転中の音量は、車外の音や緊急車両などの音が聞こえる程度で使用してください。外部の音が聞こえない状態で運転することは事故の原因となります。

⚠ 警告

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止しお買い上げの販売店、またはケンウッドサービスセンターへご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- 異物が入った
- 煙が出る
- ディスプレイが表示されない
- 水がかかった
- 変な匂いがする

画面が表示されない、音声が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故、火災、感電の原因となります。

修理は必ずお買い上げの販売店、またはケンウッドサービスセンターにご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

万一、異物が入った、水や飲み物がかかった、煙が出てくる、変な臭いがするなどの異常が発生した場合は、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。
そのまま使用を続けると、事故、火災、感電の原因となります。

規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご依頼ください。

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

本機の取り付け、取り外し、周辺機器の追加などを行う際は、安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。取り付け作業には専門技術が必要です。

⚠ 注意

本機は、車載用以外としての用途では使用しないでください。

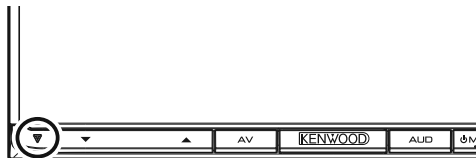
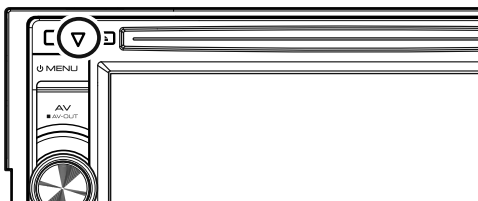
操作パネル部の開閉中には、手や指を近づけないでください。挟まれてケガをすることがあります。

本機に、強い衝撃を与えないようにしてください。
ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。

使用上のご注意

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「故障かな?と思ったら」(P.64)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。

DDX675

DDX375

リセットボタンを押しても正常に戻らないときは、本機の電源を切り、お買上げの販売店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

本機のお手入れについて

操作パネルや本体部が汚れたときは、市販のシリコンクロスなどの柔らかい布で乾拭きしてください。
汚れがひどいときは、中性洗剤を付けた布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で洗剤を拭き取ってください。
硬い布やアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。傷が付いたり文字が消えることがあります。

オートアンテナ(電動アンテナ装備車)の操作について

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、音源をラジオにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM放送以外に切り替えてください。

モニター画面について

- 画面部をボールペンなどの先のとがった物で操作しないでください。画面が損傷する場合があります。
- 画面部に強い衝撃を加えないでください。故障の原因になります。
- 画面部に保護用フィルムなどを貼らないでください。タッチ操作時に誤動作する場合があります。
- 画面に直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。
- 極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これは液晶画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。
- 画面に小さな点がでることがあります。これは液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面の特性により、液晶を見る角度によっては表示が見づらいことがありますが、故障ではありません。

免責事項について

- お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 火災、地震、水害、落雷、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障または損傷した場合には有料修理となります。

本書の画面や操作例は操作説明用に作成したものです。実際の画面と異なる画面や、実際には行えない例が記載されている場合があります。

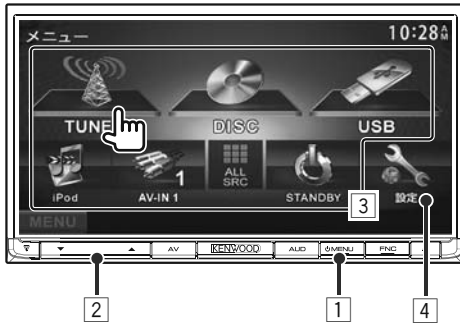
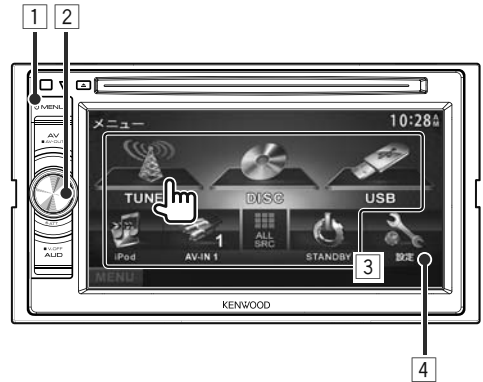
共通の操作

各部の名称とはたらき DDX675

番号	名前/本書での表記	動作
1	画面	映像や操作画面を表示します。画面に出るボタンやアイコンにタッチして本機を操作します。
2	インジケータ/リセットボタン	• 本機の電源がオンすると点灯します。 • ACC電源がオフのとき、本機の簡易セキュリティを設定すると点滅します。(P.53) • 本機をリセットします。(P.6)
3	ボリュームボタン	音量を調節します。
4	AVボタン AV	• 選択しているソース画面を表示します。 • 1秒以上押すたびに本機のAV出力(映像出力端子)のソースを切替えます。再生しているソースがディスク、iPod、USBのときは再生しているソースかAV-IN1またはAV-IN2 (AV入力の設定が"AV-IN2"のとき) が選択できます (P.51)。
5	AUDボタン AUD	• オーディオ設定のトーン画面を表示します (P.44)。 • 1秒以上押すとリアビューカメラの映像を表示します。(P.52)
6	MENUボタン MENU	• 本機の電源をオンにします。1秒以上押すと本機の電源をオフにします。 • 電源がオンのときに押すと、メニュー画面を表示します。
7	FNCボタン FNC	• 選択しているソースの操作画面を表示します。(P.11) • 1秒以上押すと画面表示をオフします。表示画面がオフ中は画面にタッチすると画面を表示します。
8	イジェクトボタン ⏏	操作パネルを開閉します。ディスクが挿入されているときはディスクを取り出します。ディスクを取り出さないと、約15秒で自動的に引き込まれます。
9	ディスク挿入口	ディスクのタイトル面を上にして差し込みます。

各部の名称とはたらき DDX375

番号	名前/本書での表記	動作
1	**画面**	映像や操作画面を表示します。画面に出るボタンやアイコンにタッチして本機を操作します。
2	**ディスク挿入口**	ディスクのタイトル面を上にして差し込みます。
3	**イジェクトボタン** [⏏]	ディスクを取り出します。 ディスクを取り出さないと、約15秒で自動的に引き込まれます。
4	**インジケータ/リセットボタン**	• 本機の電源がオンすると点灯します。 • ACC電源がオフのとき、本機の簡易セキュリティを設定すると点滅します。(**P.53**) • 本機をリセットします。(**P.6**)
5	**MENUボタン** [MENU]	• 本機の電源をオンにします。1秒以上押すと本機の電源をオフにします。 • 電源がオンのときに押すと、メニュー画面を表示します。
6	**AVボタン** [AV]	• 選択しているソース画面を表示します。 • 1秒以上押すたびに本機のAV出力(映像出力端子)のソースを切替えます。再生しているソースがディスク、iPod、USBのときは再生しているソースかAV-IN1またはAV-IN2(AV入力の設定が"AV-IN2"のとき)が選択できます(**P.51**)。
7	**ボリュームノブ**	• 左右に回して音量を調節します。 • 押すと音量を一時的に小さくします(アッテネーター)。アッテネーター中は"ATT"と表示します。再度押すかボリュームを右に回して音量を上げるとアッテネーターを解除します。
8	**AUDボタン** [AUD]	• オーディオ設定のトーン画面を表示します(**P.44**)。 • 1秒以上押すとリアビューカメラの映像を表示するか(**P.52**)または画面表示をオフします。表示画面がオフ中は画面にタッチすると画面を表示します。「システム設定」のAUDキー長押しで機能を切り替えます(**P.53**)。

DDX675

DDX375

1 電源をオン/オフする

[MENU]ボタンを押すと本機の電源をオンにします。

1秒以上押すと本機の電源をオフにします。

2 音量を調節する

ボリュームボタンを押して音量を調節します。DDX675

ボリュームノブを左右に回して音量を調節します。DDX375

音量を一時的に小さくするには... DDX375のみ

ボリュームノブを押すと音量を一時的に小さくします（アッテネーター）。アッテネーター中は"ATT"と表示します。再度押すかボリュームを右に回して音量を上げるとアッテネーターを解除します。

3 ソースを切り替える

アイコンにタッチして再生するソースを切り替えます。

メニュー画面が表示されていないときは、[MENU]ボタンを押します。

- ラジオ、ディスク、iPodなどを本書ではソースと呼びます。
- [ALL SRC] にタッチすると全ソース画面に切り替わります（P.10）。
- ⊃ にタッチすると前の状態に戻ります。
- STANDBY(スタンバイ)は何も再生していない状態です。

4 システムを設定する

時計調整など本機の各種項目を設定する画面に切り替えます（P.10）。

画面操作と切り替えかた

本機の電源をオンにしたときに表示される画面は、前回の電源オフ時の再生ソースによります。

メニュー画面

ソース選択画面です。[ALL SRC]にタッチすると全ソース画面に切り替わります。 ラジオ、ディスク、iPodなどプレイするソースのアイコンをタッチして選択します。[設定]にタッチすると設定画面に切り替わります。

ソース操作画面に移動するには...

ソースアイコンにタッチします。

全ソース画面 （全てのソースを表示します。）

- ラジオ、ディスク、iPodなどを本書ではソースと呼びます。
- ⮌ にタッチすると前の状態に戻ります。
- *スタンバイは何も再生していない状態です。

メニュー画面に移動するには...

MENU にタッチするか MENU ボタンを押します。

設定画面に移動するには...

設定 にタッチします。

設定画面

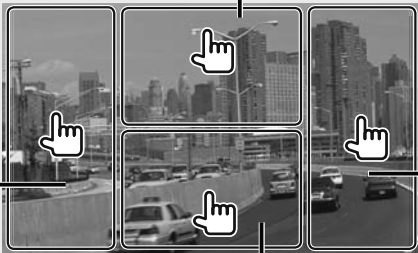
時計調整など本機の各種項目を設定する画面です。
[MENU]にタッチするか本体の**MENUボタン**を押すとメニュー画面に切り替わります。

ソース操作画面

選択したソースの操作画面です。
[MENU]にタッチするか本体の**MENUボタン**を押すとメニュー画面に切り替わります。

メニュー画面に移動するには...

MENU にタッチするか MENU ボタンを押します。

DVD/ビデオCD/USB機器/iPodなど、映像再生中は画面にタッチして操作画面を呼び出します。
DVDのときの操作例：

初期設定をする

初めて電源をオンしたときや、リセットボタンを押したときは初期設定画面を表示します。必要であれば、リアカメラなどの設定を行います。

1 電源をオンします。

2 各項目を設定します。

3 終了 にタッチして終了します。

設定できる項目は次のとおりです。

* お買い上げ時の設定

項目	選択肢	説明
パネル角度調整 DDX675	–	フロントパネルの角度を調整します(P.12)。
AV入力*1	AV-IN2	iPodの音楽とUSB機器、外部映像機器を楽しむときに選択します。
	iPod*	iPodの映像と音楽を楽しむときに選択します。
リアカメラ割込み	ON	車両のギアをリバース(R)に入れたときに、リアビューカメラの映像に自動的に切り替ります (P.52)。
	OFF*	車両のギアをリバース(R)に入れてもリアビューカメラの映像を切り替えません。
キーカラー設定	–	操作ボタン色と画面の背景画像を設定します (P.48)。

- *1 iPhone5、iPod touch 5th generation、iPod nano 7th generationなどLightning™コネクタ搭載モデルご使用になる場合は「AV入力」を"AV-IN2"に設定します (P73)。
- 上記の設定は各種設定項目(P12、P48、P51)に示した方法で変更できます。

パネルの角度を調整する

DDX675

画面が見やすくなるようにパネルの角度を調整します。また電源をオフしたときのパネル角度も登録できます。

1 角度(0〜6)にタッチします。

電源をオフしたときのパネル角度を登録するときは、パネル角度調整を設定した後、[保存]にタッチします。

2 ⮌ にタッチして終了します。

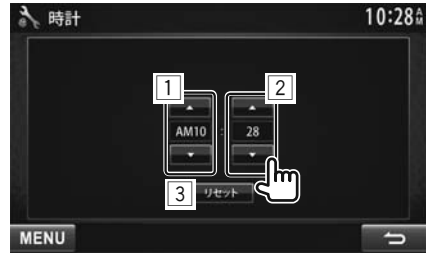
時計を合わせる

時計を合わせます。
時計は12時間制で表示します。

1 [MENU]ボタンを押して、メニュー画面を表示させ[設定]にタッチします。

2 [システム]にタッチします。

3 [時計]にタッチします。

4 時刻を合わせます。

1 ▲ または ▼ にタッチして"時"を調整します。
2 ▲ または ▼ にタッチして"分"を調整します。
3 リセット 00分に合わせます。
例: 3:00 – 3:29 ➡ 3:00
3:30 – 3:59 ➡ 4:00

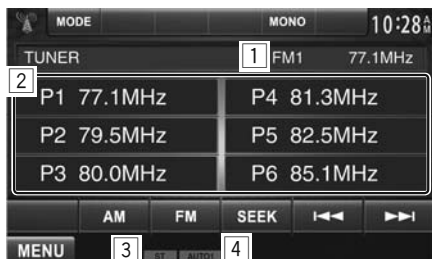
5 ⮌ にタッチして終了します。

ラジオを聞く・操作する

ラジオ放送（FM/AM）を受信します。

■ ラジオに切り替える

[MENU]ボタンを押して、メニュー画面を表示させ[TUNER]にタッチします。

【ラジオ受信画面】

1 受信中のバンド、放送局表示
2 プリセットボタン（P1－P6）
3 ステレオ表示
4 選局方法表示

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
プリセットボタン	よく聞く放送局を登録したり登録されている放送局を受信します。各バンドごとに6局、最大24局登録できます。
AM FM	受信するバンドを選択します。押すたびにAMバンド(1/2)、FMバンド（1/2）に切り替わります。
SEEK	押すたびに放送局の選局方法を設定します。 AUTO1: 放送局を自動的に受信します。 AUTO2: 登録されている放送局を順番に受信します。 MANU: 1ステップずつ周波数が変わります。
⏮ ⏭	[SEEK]ボタンで設定した選局方法で放送局を選局します。
MODE	TUNERモード画面を呼び出します(P.15)。
MONO	FMステレオ放送をモノラルで受信します。受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに設定を[MONO]にすると、雑音が軽減されて聞きやすくなることがあります。

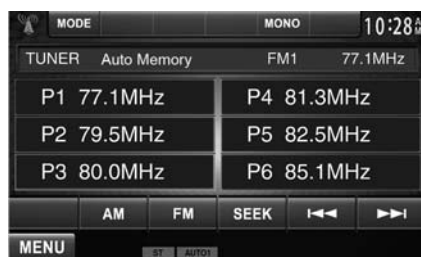
放送局を自動登録する（オートメモリー）

バンドごとに、6局の放送局を登録できます。
オートメモリーとプリセットメモリーは、どちらか最後に登録したものが有効になります。

1 [AM]または[FM]にタッチして登録したいバンドを選択します。

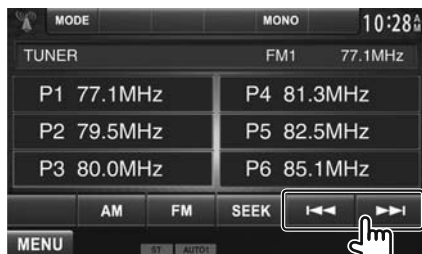
2 [MODE]にタッチして、TUNER モード画面に切り替えます。

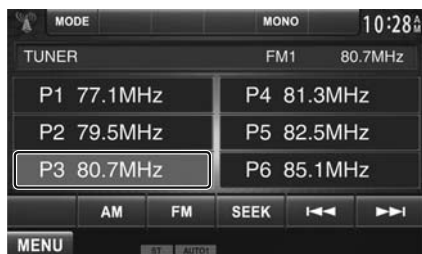
3 [スタート]ボタンに約2秒以上タッチし続けます。

▼

"Auto Memory"と表示され受信状態の良い放送局が、プリセットボタンに自動的に最大6局登録されます。

受信中の放送局を1つずつ登録する(プリセットメモリー)

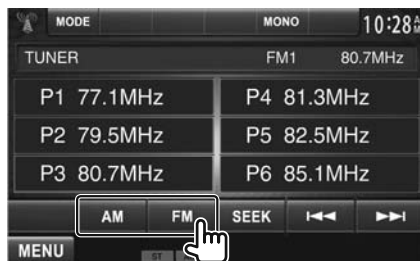
よく聞くお好みの放送局を登録します。
オートメモリーとプリセットメモリーは、どちらか最後に登録したものが有効になります。

1 お好みの放送局を受信します。

2 登録するプリセットボタンに約2秒以上タッチし続けます。

▼

受信中の放送局が選んだプリセットボタンに登録されます。

登録した放送局を呼び出す

プリセットボタンにタッチして登録した放送局を呼び出します。

1 [AM]または[FM]にタッチして聞きたいバンドを選択します。

2 聞きたい放送局が登録されているプリセットボタンにタッチします。

選んだ放送局を受信します。

音楽CDを再生する

ディスクのタイトル面を上にして、ディスク挿入口に差し込みます。挿入すると自動で再生します。

ディスクを取り出すときは...
[⏏](イジェクト)ボタンを押します。

■ ディスクに切り替える

すでにディスクが入っているときは...
[MENU]ボタンを押して、メニュー画面を表示させ[DISC]にタッチします。

【CD再生画面例】

1 曲名/アーティスト名/アルバム名表示(テキスト情報が入っていると表示します。)表示するテキスト情報が多い場合は<にタッチするとスクロール表示します。

2 トラック番号

3 再生/一時停止/早送り/早戻し表示

4 演奏時間

5 リピート/ランダム再生表示

6 ディスク表示(ディスクが本機にセットされていると"IN"と表示します。)

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
⏮ ⏭	前または次の曲を再生します。タッチし続けると、2倍/10倍で早戻しまたは早送りします。
⏯	再生または一時停止(ポーズ)します。
◀◀ ▶▶	早送りまたは早戻しします。タッチするたびにスピードが変わります(2倍、5倍、10倍、20倍、60倍)。再生したいところで、⏯にタッチします。
🔀	ランダム(RDM)プレイをオン/オフします。オンのときには、CDの全曲が順不同に再生されます。
🔁	リピート(REP)プレイをオン/オフします。オンのときには、現在再生中の曲が繰り返し再生されます。

- ランダムプレイ、リピートプレイがオンのときには、ボタンが青く表示されます。
- ランダムプレイ、リピートプレイは同時に選択できません。

ファイルを再生する

ディスクのタイトル面を上にして、ディスク挿入口に差し込みます。挿入すると自動で再生します。

ディスクを取り出すときは...

⏏（イジェクト）ボタンを押します。

■ ディスクに切り替える

すでにディスクが入っているときは...
[MENU]ボタンを押して、メニュー画面を表示させ[DISC]にタッチします。

オーディオファイルの再生

【オーディオファイル再生画面】

1 アルバムアート画像
2 曲名/アーティスト名/アルバム名表示（テキスト情報が入っていると表示します。）表示するテキスト情報が多い場合は**<**にタッチするとスクロール表示します。
3 フォルダ番号
4 ファイル番号
5 再生/一時停止/早送り/早戻し表示
6 演奏時間
7 リピート/ランダム再生表示
8 ファイルの種類表示
9 ディスク表示（ディスクが本機にセットされているとINと表示します。）

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
⏮ ⏭	前または次のファイルを再生します。 タッチし続けると、2倍/10倍で早戻しまたは早送りします。
▶II	再生または一時停止（ポーズ）します。
◀◀ ▶▶	早送りまたは早戻しします。タッチするたびにスピードが変わります （2倍、5倍、10倍、20倍、60倍）。 再生したいところで、にタッチします。
MODE	再生するディスクにオーディオ/ビデオ/ピクチャファイルが混在するときは、再生したいファイルの種類を設定します（**P.20**）。
	前のフォルダの先頭のファイルから再生します。
	次のフォルダの先頭のファイルから再生します。
	押すたびにフォルダ(FO-RDM)/全ファイル(RDM)/オフを切り替えます。オンのときには、フォルダ内または全ファイルが順不同に再生されます。
	押すたびに1ファイル(REP)/フォルダ(FO-REP)/オフを切り替えます。 オンのときには、現在のファイルまたはフォルダ内のファイルが繰り返し再生されます。
Q	再生リストを表示します。再生するファイルを選択できます（**P.21**）。

- ランダムプレイ、リピートプレイがオンのときには、ボタンが青く表示されます。
- ランダムプレイ、リピートプレイは同時に選択できません。
- アルバムアート画像は、情報があるときに表示されます。

ビデオ/ピクチャファイルの再生

【ビデオ/ピクチャファイル再生画面】

【ビデオ/ピクチャファイル再生画面（スキップ）】

1 画面の上部中央にタッチすると、メニューコントロール 画面が表示されます (P.38)。
2 画面の下部中央にタッチするか FNC ボタン*を押すと、操作ボタンが表示されます。
*DDX675 のみ

【操作ボタン画面】

1 フォルダ番号
2 ファイル番号
3 演奏時間
4 リピート/ランダム再生表示
5 ファイルの種類表示
6 ディスク表示（ディスクが本機にセットされていると"IN"と表示します。）

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
I◀◀ ▶▶I	前または次のファイルを再生します。 ビデオファイルのときは、タッチし続けると、倍速で早戻しまたは早送りします。
▶II	再生または一時停止（ポーズ）します。
◀◀ ▶▶	ビデオファイルのとき、早送りまたは早戻しします。タッチするたびに4段階でスピードが変わります。 再生したいところで、にタッチします。
MODE	再生するディスクにオーディオ/ビデオ/ピクチャファイルが混在するときは、再生したいファイルの種類を設定します (P.20)。
⊟	前のフォルダの先頭のファイルから再生します。
⊞	次のフォルダの先頭のファイルから再生します。
	押すたびにフォルダ(FO-RDM)/全ファイル(RDM)/オフを切り替えます。オンのときには、フォルダ内または全ファイルが順不同に再生されます。
	押すたびに1ファイル(REP)/フォルダ(FO-REP)/オフを切り替えます。 オンのときには、現在のファイルまたはフォルダ内のファイルが繰り返し再生されます。
Q	再生リストを表示します。再生するファイルを選択できます (P.21)。

- ランダムプレイ、リピートプレイがオンのときには、ボタンが青く表示されます。
- ランダムプレイ、リピートプレイは同時に選択できません。
- 走行中は、ビデオ/ピクチャファイルの映像は映りません。

設定を変更する

再生したいファイルの種類や外部接続するモニタータイプを設定します。

1 [MODE]にタッチします。

ビデオやピクチャファイルを再生しているときは、画面下部中央にタッチするか、FNC ボタン*を押して操作ボタンを表示してから[MODE]にタッチします。* DDX675 のみ

▼

2 各項目を設定します。

3 にタッチして終了します。

設定できる項目は次のとおりです。

* お買い上げ時の設定

項目	選択肢	説明
ファイルタイプ	音楽	オーディオファイルを選択します。
	静止画像	ピクチャファイルを選択します。
	映像	ビデオファイルを選択します。
	音楽と映像*	オーディオとビデオファイルを選択します。
モニタータイプ	16:9*	P.25をご覧ください。
	4:3LB	
	4:3PS	

- モニタータイプは、映像出力端子に接続した外部モニター用の表示設定です。

再生するファイルをリストで選択する

再生するファイルを選択します。

1 にタッチします。

ビデオやピクチャファイルを再生しているときは、画面下部中央にタッチして操作ボタンを表示してから にタッチします。

▼

2 フォルダを選んでタッチします。

リストが多いときは、∧ ∨ にタッチするとリストを移動します。
ファイルのリストが表示されるまで繰り返します。

3 再生するファイルを選んでタッチします。

選択したファイルが再生されます。

- リストに表示されるファイルは「設定を変更する」(**P.20**)のファイルタイプで選択した種類のファイルが表示されます。
- 選んだフォルダの下位にさらにファイルがあるときは、▶が表示されます。
- にタッチすると最上位階層へ にタッチするとリストの1階層上に戻れます。

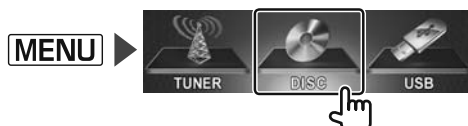
DVDビデオ/DVD-VRを再生する

ディスクのタイトル面を上にして、ディスク挿入口に差し込みます。挿入すると自動で再生します。

ディスクを取り出すときは...

[⏏]（イジェクト）ボタンを押します。

■ ディスクに切り替える

すでにディスクが入っているときは...
[MENU]ボタンを押して、メニュー画面を表示させ[DISC]にタッチします。

【DVD再生画面】

【DVD再生画面（スキップ）】

1 画面の上部中央にタッチすると、メニューコントロール 画面が表示されます (P.23)。
2 画面の下部中央にタッチするか[FNC]ボタン*を押すと、操作ボタンが表示されます。
*[DDX675] のみ

【操作ボタン画面】

1 タイトル番号
2 チャプター番号
3 演奏時間
4 リピート再生表示
5 ディスク表示（ディスクが本機にセットされていると"IN"と表示します。）

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
MODE	DVDセットアップメニューを表示します (P.25)。
■	再生を停止します。
⏮ ⏭	前または次のチャプターを再生します。タッチし続けると、2倍/10倍で早戻しまたは早送りします。
▶II	再生または一時停止（ポーズ）します。

	早送りまたは早戻しします。タッチするたびにスピードが変わります（2倍、5倍、10倍、20倍、60倍）。再生したいところで、 にタッチします。
	タイトル(Title)/チャプター(Chapter) リピートプレイをオン/オフします。オンのときには、現在のタイトルまたはチャプターが繰り返し再生されます。

- タイトルリピートプレイ、チャプターリピートプレイがオンのときには、ボタンが青く表示されます。
- 走行中は、ビデオの映像は映りません。

【メニューコントロール画面】

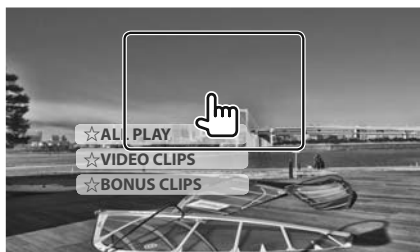
ボタン	説明
ZOOM	再生画面を拡大します(P.41)。
Aspect	画面モードを変更します(P.40)。
Picture Adjust	画質を調整します (P.39)。
Audio	音声の言語を切り替えます。
Subtitle	字幕の言語を切り替えます。
Angle	アングルを切り替えます。
MENU	ディスクメニューを表示します(P.24)。
T MENU	ディスクのトップメニューを表示します (P.24)。
Highlight	ディスクメニューをダイレクトに画面のボタンにタッチして選択します(P.24)。
CUR	ディスクメニューをカーソルで移動して選択します (P.24)。

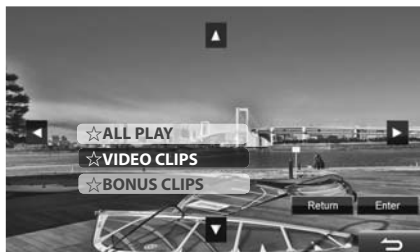
ディスクメニューを操作する

DVDビデオのディスクに収録されたメニュー（ディスクメニュー）を操作します。

カーソルで操作するときは...

本機が表示するボタンで操作します。

1 ディスクメニューの表示中に画面上部中央にタッチします。

2 [CUR]にタッチします。

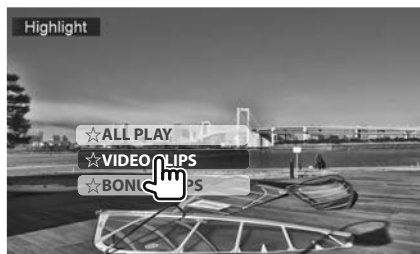
3 各ボタンにタッチして操作します。

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
▲ ▼ ◀ ▶	カーソルを移動します。
Return	ディスクメニューの1階層上の項目を表示します。
Enter	項目の選択を決定します。
⮌	DVD操作ボタンの画面に戻ります。

ダイレクトに操作するときは...

ディスクメニューの項目にタッチして操作します。

1 前項2で[Hightlight]にタッチします。

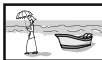
2 画面にタッチして操作します。

- 表示されるディスクメニューは再生しているDVDに固有のもので、操作できる内容はDVDによって異なります。
- ダイレクト操作を中止するときは、[AV]ボタンまたは[FNC]ボタン*を押します。

*[DDX675] のみ

DVDセットアップメニューを表示する

DVDに関する各種の設定を行います。

1 [MODE]にタッチします。

画面下部中央にタッチして、操作ボタンを表示して[MODE]にタッチします。

2 各項目を設定します。

3 にタッチして終了します。

設定できる項目は次のとおりです。

＊ お買い上げ時の設定

項目	選択肢	説明
メニュー言語	–	ディスクメニューの優先言語を設定します。
サブタイトル言語	–	字幕の優先言語を設定します。
音声言語	–	音声の優先言語を設定します。
モニタータイプ	16:9*	ワイドモードで表示します。通常はこの設定でお使いください。
	4:3LB	ワイド版の映像をレターボックス(LB)方式で表示します。このモードでは、画面の上下に黒い帯が出ます。
	4:3PS	ワイド版の映像をパン&スキャン(PS)方式で表示します。このモードでは、画面の左右に黒い帯が出ます。
ダウンミックス	Dolby Surround	ドルビーサラウンド音声を再生するときに設定します。
	Stereo*	音声をステレオで再生します。通常はこの設定でお使いください。
ダイナミックレンジ	Wide	DVDの音声のダイナミックレンジを設定します。ダイナミックレンジはWide>Normal>Dialogの順に狭くなりますが、映画のセリフ等は明確に聞き取れるようになります。
	Normal	
	Dialog*	

- 言語の選択は、DVD言語コード表を参照してください (P.56)。
- 設定した優先言語が再生するDVDに収録されていない場合は、DVDに収録されている言語になります。
- ディスクによっては、設定した優先言語やモニタータイプが変わらない場合があります。
- モニタータイプは、映像出力端子に接続した外部モニター用の表示設定です。

ビデオCDを再生する

ディスクのタイトル面を上にして、ディスク挿入口に差し込みます。挿入すると自動で再生します。

ディスクを取り出すときは...
[⏏]（イジェクト）ボタンを押します。

■ ディスクに切り替える

すでにディスクが入っているときは...
[MENU]ボタンを押して、メニュー画面を表示させ[DISC]にタッチします。

【ビデオCD再生画面】

【ビデオCD再生画面（スキップ）】

1 画面の上部中央にタッチすると、メニューコントロール 画面が表示されます (P.27)。
2 画面の下部中央にタッチするか[FNC]ボタン*を押すと、操作ボタンが表示されます。
*[DDX675] のみ

【操作ボタン画面】

1 トラック番号
2 演奏時間
3 リピート/ランダム再生表示
4 PBC(プレーバックコントロール）表示
5 ディスク表示（ディスクが本機にセットされているとINと表示します。）

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
■	再生を停止します。 PBC（プレーバックコントロール）機能がオンのときはPBCをオフします。
⏮ ⏭	前または次のトラックを再生します。タッチし続けると、2倍/10倍で早戻しまたは早送りします。
⏯	再生または一時停止（ポーズ）します。

	早送りまたは早戻しします。タッチするたびにスピードが変わります（2倍、5倍、10倍、20倍、60倍）。再生したいところで、 にタッチします。
	押すたびにランダム(RDM)/オフを切り替えます。オンのときには、全トラックが順不同に再生されます。
	リピートプレイをオン/オフします。オンのときには、現在のトラックが繰り返し再生されます。

- リピートプレイ、ランダムプレイがオンのときには、ボタンが青く表示されます。
- PBC（プレーバックコントロール）機能がオンのときは、ランダム/リピート再生は選択できません。
- 走行中は、ビデオの映像は映りません。

【メニューコントロール画面】

ボタン	説明
ZOOM	再生画面を拡大します(P.41)。
Aspect	画面モードを変更します(P.40)。
Picture Adjust	画質を調整します (P.39)。
MENU	ディスクメニューを表示します。
Audio	音声をST：ステレオ、L：左、R：右の順で切り替えます。
Direct	ダイレクト選択ボタンを表示します。
Return	ディスクメニュー画面に戻ります。

曲番号を指定して選曲する

曲番号を指定して曲を選びます。

1 [Direct]にタッチします。

画面上部中央にタッチして、メニューコントロール画面を表示して[Direct]にタッチします。

2 [ダイレクト]、[数字ボタン]、[Enter]の順にタッチして曲を選びます。

曲番号を入れ間違えたときは、[ダイレクト]にタッチします。

ファイルを再生する

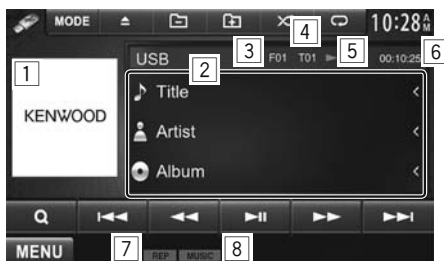
USB機器をUSB端子に接続します (P.73)。
接続すると自動で再生します。

USB機器を取り外すときは...

⏏ にタッチします。

■ USBに切り替える

すでにUSB機器が接続されているときは...
[MENU]ボタンを押して、メニュー画面を表示させ[USB]にタッチします。

オーディオファイルの再生

【オーディオファイル再生画面】

1 アルバムアート画像
2 曲名/アーティスト名/アルバム名表示 (テキスト情報が入っていると表示します。) 表示するテキスト情報が多い場合は**<**にタッチするとスクロール表示します。
3 フォルダ番号
4 ファイル番号
5 再生/一時停止/早送り/早戻し表示
6 演奏時間
7 リピート/ランダム再生表示
8 ファイルの種類表示

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
⏮ ⏭	前または次のファイルを再生します。タッチし続けると、2倍/10倍で早戻しまたは早送りします。
⏯	再生または一時停止(ポーズ)します。
⏪ ⏩	早送りまたは早戻しします。タッチするたびにスピードが変わります(2倍、5倍、10倍、20倍、60倍)。再生したいところで、⏯ にタッチします。
MODE	再生するUSB機器にオーディオ/ビデオ/ピクチャファイルが混在するときは、再生したいファイルの種類を設定します (**P.30**)。
⏏	USB機器を取り外すときにタッチします。
フォルダ(−)	前のフォルダの先頭のファイルから再生します。
フォルダ(+)	次のフォルダの先頭のファイルから再生します。
ランダム	押すたびにフォルダ(FO-RDM)/全ファイル(RDM)/オフを切り替えます。オンのときには、フォルダ内または全ファイルが順不同に再生されます。
リピート	押すたびに1ファイル(REP)/フォルダ(FO-REP)/オフを切り替えます。オンのときには、現在のファイルまたはフォルダ内のファイルが繰り返し再生されます。
Q	再生リストを表示します。再生するファイルを選択できます(**P.31**)。

- ランダムプレイ、リピートプレイがオンのときには、ボタンが青く表示されます。
- ランダムプレイ、リピートプレイは同時に選択できません。
- アルバムアート画像は、情報があるときに表示されます。

ビデオ/ピクチャファイルの再生

【ビデオ/ピクチャファイル再生画面】

【ビデオ/ピクチャファイル再生画面（スキップ）】

1 画面の上部中央にタッチすると、メニューコントロール 画面が表示されます (P.38)。
2 画面の下部中央にタッチするか FNC ボタン*を押すと、操作ボタンが表示されます。
*DDX675 のみ

【操作ボタン画面】

1 フォルダ番号
2 ファイル番号
3 演奏時間
4 リピート/ランダム再生表示
5 ファイルの種類表示

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
	前または次のファイルを再生します。ビデオファイルのときは、タッチし続けると、倍速で早戻しまたは早送りします。
	再生または一時停止（ポーズ）します。
	ビデオファイルのとき、早送りまたは早戻しします。タッチするたびに4段階でスピードが変わります。再生したいところで、にタッチします。
MODE	再生するUSB機器にオーディオ/ビデオ/ピクチャファイルが混在するときは、再生したいファイルの種類を設定します (P.30)。
	USB機器を取り外すときにタッチします。
	前のフォルダの先頭のファイルから再生します。
	次のフォルダの先頭のファイルから再生します。
	押すたびにフォルダランダム/全ファイルランダム/オフを切り替えます。 オンのときには、フォルダ内または全ファイルが順不同に再生されます。
	押すたびに1ファイルリピート/フォルダリピート/オフを切り替えます。 オンのときには、現在のファイルまたはフォルダ内のファイルが繰り返し再生されます。
	再生リストを表示します。再生するファイルを選択できます（P.31）。

- ランダムプレイ、リピートプレイがオンのときには、ボタンが青く表示されます。
- ランダムプレイ、リピートプレイは同時に選択できません。
- 走行中は、ビデオ/ピクチャファイルの映像は映りません。

設定を変更する

再生したいファイルの種類や外部接続するモニタータイプ、USB機器のドライブ切り替えを設定します。

1 [MODE]にタッチします。

ビデオやピクチャファイルを再生しているときは、画面下部中央にタッチしてするか、FNCボタン*を押して操作ボタンを表示してから[MODE]にタッチします。
*DDX675 のみ

▼

2 再生したいファイルの種類を選んでタッチします。

3 にタッチして終了します。

設定できる項目は次のとおりです。

* お買い上げ時の設定

項目	選択肢	説明
ファイルタイプ	音楽	オーディオファイルを選択します。
	静止画像	ピクチャファイルを選択します。
	映像	ビデオファイルを選択します。
	音楽と映像*	オーディオとビデオファイルを選択します。
モニタータイプ	16:9*	P.25をご覧ください。
	4:3LB	
	4:3PS	
ドライブ切替え	–	スマートフォンなどをUSBマスストレージ接続したときに、内蔵メモリまたは外部メモリ(SDカードなど)を[Next]にタッチして選択します。

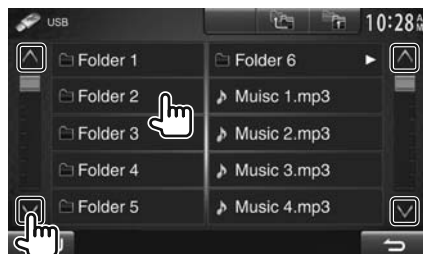
- モニタータイプは、映像出力端子に接続した外部モニター用の表示設定です。

再生するファイルをリストで選択する

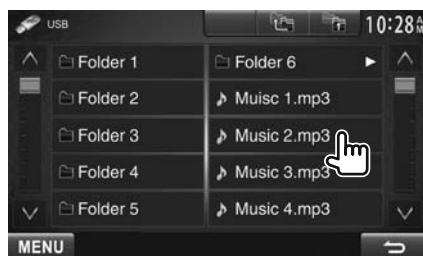
再生するファイルを選択します。

1 にタッチします。

ビデオやピクチャファイルを再生しているときは、画面下部中央にタッチして操作ボタンを表示してからにタッチします。

▼

2 フォルダを選んでタッチします。

リストが多いときは、∧ ∨ にタッチするとリストを移動します。
ファイルのリストが表示されるまで繰り返します。

3 再生するファイルを選んでタッチします。

選択したファイルが再生されます。

- リストに表示されるファイルは「設定を変更する」(P.30)のファイルタイプで選択した種類のファイルが表示されます。
- 選んだフォルダの下位にさらにファイルがあるときは、▶が表示されます。
- にタッチすると最上位階層へ にタッチするとリストの1階層上に戻れます。

iPod/iPhoneを再生する

別売のiPod接続ケーブル(KCA-iP202、KCA-iP102)またはiPod/iPhoneに付属の接続ケーブルを使ってiPod/iPhoneをUSB端子またはUSB端子とAV-IN2端子に接続します(P.73)。接続すると自動で再生します。

iPod/iPhoneを取り外すときは...

iPod/iPhoneをiPod接続ケーブルから取り外します。

■ iPodに切り替える

すでにiPod/iPhoneが接続されているときは...
[MENU]ボタンを押して、メニュー画面を表示させ[iPod]にタッチします。

【iPod再生画面】

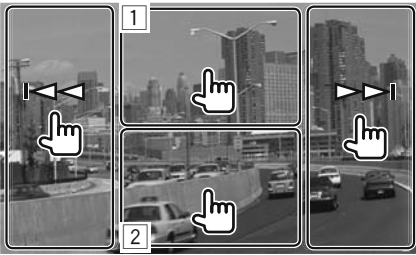
1 アルバムアート画像
2 曲名/アーティスト名/アルバム名表示(テキスト情報が入っていると表示します。) 表示するテキスト情報が多い場合は<にタッチするとスクロール表示します。
3 曲番号/全曲数
4 再生/一時停止表示
5 演奏時間
6 リピート/ランダム再生表示
7 ファイルの種類表示

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
⏮ ⏭	前または次のファイルを再生します。 タッチし続けると、早戻しまたは早送りします。
▶II	再生または一時停止(ポーズ)します。
◀◀ ▶▶	早送りまたは早戻しします。 再生したいところで、▶II にタッチします。
MODE	オーディオブックの読み上げ速度やアルバムアート画像を設定します (P.34)。
(ランダム)	押すたびに全ファイル(RDM)/アルバム(A-RDM)/オフを切り替えます。 オンのときには、選ばれた全ファイルまたはアルバムのファイルが順不同に再生されます。
(リピート)	押すたびに1ファイル(REP)/全ファイル(ALL)を切り替えます。 オンのときには、1ファイルまたは全ファイルが繰り返し再生されます。
Q	再生リストを表示します。再生する曲をカテゴリーで選択できます(P.35)。
APP	アプリケーションモードのオン/オフを切り替えます。アプリケーションがオンのときは、iPod/iPhone側で操作できます。

- ランダムプレイ、リピートプレイがオンのときには、ボタンが青く表示されます。
- ランダムプレイ、リピートプレイは同時に選択できません。
- アルバムアート画像は、情報があるときに表示されます。

【iPodビデオ再生画面】

【iPodビデオ再生画面（スキップ）】

1 画面の上部中央にタッチすると、メニューコントロール 画面が表示されます (P.38)。

2 画面の下部中央にタッチするかFNCボタン*を押すと、操作ボタンが表示されます。
*DDX675 のみ

【操作ボタン画面】

1 演奏時間

2 リピート/ランダム再生表示

3 ファイルの種類表示

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
	前または次のファイルを再生します。 タッチし続けると、早戻しまたは早送りします。
	再生または一時停止（ポーズ）します。
	早送りまたは早戻しします。 再生したいところで、にタッチします。
MODE	オーディオブックの読み上げ速度やアルバムアート画像を設定します (P.34)。
	押すたびに全ファイル(RDM)/アルバム(A-RDM)/オフを切り替えます。 オンのときには、選ばれた全ファイルまたはアルバムのファイルが順不同に再生されます。
	押すたびに1ファイル(REP)/全ファイル（ALL）を切り替えます。 オンのときには、1ファイルまたは全ファイルが繰り返し再生されます。
Q	再生リストを表示します。再生するビデオをカテゴリーで選択できます (P.35)。
APP	アプリケーションモードのオン/オフを切り替えます。アプリケーションがオンのときは、iPod/iPhone側で操作できます。

- ビデオの再生は「再生するファイルをリストで選択する」(P.35)のビデオリストから選択します。
- ランダムプレイ、リピートプレイがオンのときには、ボタンが青く表示されます。
- 走行中は、ビデオファイルの映像は映りません。

設定を変更する

オーディオブックの読み上げ速度やアルバムアート画像の設定します。

1 [MODE]にタッチします。

ビデオを再生しているときは、画面下部中央にタッチするか、FNC ボタン*を押して操作ボタンを表示してから[MODE]にタッチします。* DDX675 のみ

▼

2 各項目を設定します。

3 ⮌ にタッチして終了します。

設定できる項目は次のとおりです。

* お買い上げ時の設定

項目	選択肢	説明
オーディオブック	Normal*	オーディオブックの読み上げ速度を切り替えます。 Normal: 標準 Faster: 早い Slower: 遅い
	Faster	
	Slower	
アートワーク	ON*	アルバムアート画像の表示をオンします。
	OFF	アルバムアート画像の表示をオフします。

再生するファイルをリストで選択する

iPod/iPhone本体での操作と同様に、再生する曲やビデオを本機側で選択することができます。

1 にタッチします。

ビデオやピクチャファイルを再生しているときは、画面下部中央にタッチして操作ボタンを表示してからにタッチします。

▼

2 （ミュージックリスト）または（ビデオリスト）を選択します。

ミュージックリスト

▼ ▲

ビデオリスト

ビデオリスト
ムービー

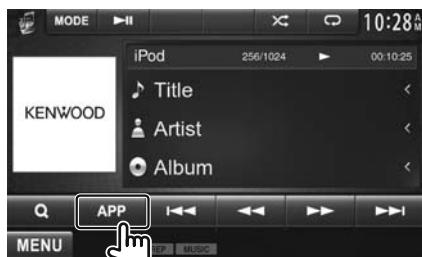
3 カテゴリー、または再生する曲/ビデオファイルを選んでタッチします。

リストが多いときは、∧ ∨ にタッチするとリストを移動します。
ファイルのリストが表示されるまで繰り返します。選択したファイルが再生されます。

- **3** 以降で表示されるカテゴリー/サブカテゴリーは、iPodとiPod Videoとでは異なります。また、iPod Videoのサブカテゴリーは、接続するiPodによって異なります。
- にタッチすると最上位階層へ、にタッチするとリストの1階層上に戻れます。

iPod/iPhoneから操作する

iPod/iPhoneにインストールしてあるアプリケーションをiPod/iPhoneで操作し再生します。

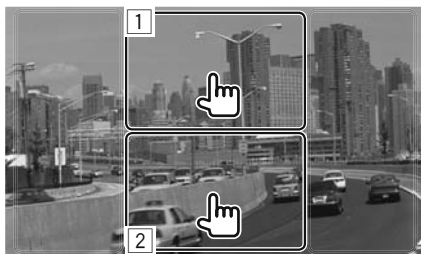
1 [APP]にタッチします。

- APPモードを解除するときは**[APP]**にタッチします。
- iPod/iPhoneのソフトによってAPPモード中でも、本機から一時停止/再生/早送り/早戻し/曲のスキップなどを操作をすることができます。

外部ソースの音を聞く/映像を見る

別売のAV接続ケーブル(CA-C3AV)を使って、ビデオカメラなどの外部機器を本機のAV-IN1、AV-IN2端子に接続し映像や音声を再生します。
AV-IN2端子を使用するときは「AV入力」の設定を"AV-IN2"にします(P.51)。

■ 外部ソースに切り替える

[MENU]ボタンを押して、
メニュー画面を表示させ[AV-IN1]または[AV-IN2]にタッチします。

【AV-IN画面】

1 画面の上部中央にタッチすると、メニューコントロール 画面が表示されます (P.38)。
2 画面の下部中央にタッチするか FNC ボタン*を押すと、操作ボタンが表示されます。
*DDX675 のみ

【操作ボタン画面】

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
	AV-INの名前を設定します。ここで設定した名前はAV-IN画面を選択したときに表示されます(P.37)。

・ 市販の4極ミニプラグ付ビデオケーブルは、本機では使用できません。AV-IN端子に外部機器を接続するときは、CA-C3AV(別売品)をご使用ください。

AV-INの名前を設定する

AV-IN画面で表示される名前を設定します。

1 [MODE]にタッチします。

2 タッチして名前を選びます。

VIDEO1またはVIDEO2/DVD/VCD/VCR/GAME/AUX/TVの中から選びます。

3 にタッチして終了します。

・ 名前を変更してもメニュー画面のソースアイコンの名前は変わりません。

画面設定

画面を設定する

映像ソースの画質や画像モード、画像ズームを設定します。

1 DVD、USB、iPod/iPhoneや外部機器の映像を再生します。

2 画面上部中央にタッチします。

3 各項目を設定します。

（画面例：DVD）

（画面例：USB）

4 にタッチして終了します。

設定できる項目は次のとおりです。

項目	選択肢	説明
Picture Adjust	明るさ コントラスト 色の濃さ 色 色合い 鋭さ	映像ソースの画質を調整します (P.39)。
Aspect	フル ジャスト ノーマル オート	画面モードを設定します(P.40)。
Zoom	ズーム1 ズーム2 ズーム3 フル	再生している映像を拡大表示します(P.41)。

映像ソースの画質を調整する

映像ソースの画質を調整します。
車両のライトスイッチがオン(ディマーオン)と、オフ(ディマーオフ)のときで別々に設定できます。

1 **[Picture Adjust]にタッチします。**

(画面例:DVD)

(画面例:USB)

2 **[DIM ON]または[DIM OFF]にタッチしてから[−]または[+]にタッチして、各項目を調整します。**

DIM ON:ディマーオン時の設定をします。
DIM OFF:ディマーオフ時の設定をします。

3 **にタッチして終了します。**

調整できる項目は次のとおりです。

項目	説明
明るさ	明るさを調整します。 + 明るくなります。 − 暗くなります。
コントラスト	コントラストを調整します。 + コントラストが強くなります。 − コントラストが弱くなります。
色の濃さ	黒色の明るさを調整します。 + 明るくなります。 − 暗くなります。
色	色の濃淡を調整します。 + 濃くなります。 − 淡くなります。
色合い	色相を調整します。 + 緑が強くなります。 − 赤が強くなります。
鋭さ	鮮明度を調整します。 + 鮮明度強くなります。 − 鮮明度が弱くなります。

- 映像ソースによっては、調整できない項目もあります。

画面モードを設定する

再生する映像の画面モードを設定します。

1 [Aspect]にタッチします。

（画面例：DVD）

（画面例：USB）

2 [アスペクト]にタッチして、画面モードを選択します。

フル/ジャスト/ノーマル/オートの中から選びます。

3 [↩] にタッチして終了します。

・ オートはソースがUSBまたはディスクのとき選択できます。

画面モードは、再生する映像のアスペクト比(縦横比)で変化します。再生する映像に合わせて選択します。

画像モード	4:3の映像のとき	16:9の映像のとき
フル		
ジャスト		
ノーマル		
オート	再生する映像を検出して自動的に最適な画面モードに切り替えます。	

フル:
4:3の映像の左右だけを拡大します。映像がかけることなくワイド画面が表示されます。

ジャスト:
画面の両端に近づくほど、横方向に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感無く楽しめます。

ノーマル:
4:3の映像をそのまま表示します。

ズームで画面を拡大する

再生している映像の画面を拡大表示します。

1 [ZOOM]にタッチします。

(画面例：DVD)

(画面例：USB)

2 [ズーム]にタッチして、ズームモードを選択します。

[ズーム] タッチするたびにズーム倍率(ズーム1/2/3/フル)が変わります。

[◀][▶][▲][▼] ズームした画像をタッチした方向に移動します。

3 [⮌] にタッチして終了します。

オーディオ設定

オーディオ設定をする

車内の音響効果や音質を調整します。
オーディオ設定は、ソースを選択して音が出ているときに行ってください。

1 [MENU]ボタンを押して、メニュー画面を表示させ[設定]にタッチします。

2 [オーディオ]にタッチします。

3 各項目を設定します。

リストが多いときは、∧ ∨ にタッチするとリストを移動します。

4 [⮌] にタッチして終了します。

・[オーディオ]、[画面]、[入力]、[システム]にタッチすると、設定項目を切り替えることができます。

設定できる項目は次のとおりです。

＊ お買い上げ時の設定

項目	選択肢	説明
フェダー/バランス	–	前後/左右の音量バランスを設定します (P.43)。
イコライザー	–	音質を設定します (P.43、P44)。
ラウドネス	ON*	小さな音量で音楽を聞くときに不足しがちな低域と高域の音量を補正します。
	OFF	ラウドネスをオフします。
クロスオーバー	–	各スピーカーのクロスオーバー周波数を設定します(P.45)。
ソースボリューム	−15 ～ 0* ～ +6	ソースごとの音量差を調整します。ソースを切り替えても、ほぼ同じ音量で聞くことができます (P.46)。
サブウファー	ON	サブウファーをオンします。
	OFF*	サブウファーをオフします。
スピーカ選択	Standard* Narrow Middle Wide	接続するスピーカーを設定します(P.46)。

・「セットアップメモリ」で[ロック]を選択すると鍵( )マークの表示されている設定の項目が変更できなくなります (P.54)。

フェーダー/バランスを設定する

前後および左右の音量バランスを調整します。

1 [フェダー/バランス]にタッチします。

2 フェーダー/バランスを合わせる位置にタッチします。

▲ または ▼ にタッチして前後のバランスを ◀ または ▶ にタッチして左右のバランスを調整することもできます。

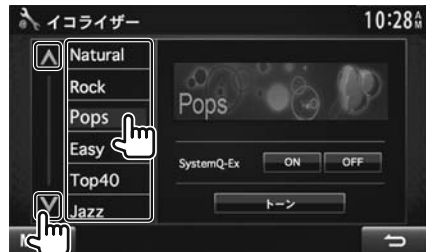
センター にタッチすると、前後/左右ともにバランスは中央になります。

3 ⮌ にタッチして終了します。

プリセットイコライザーを設定する

音楽のジャンルに合わせて、プリセットイコライザー（SystemQ）を設定します。

1 [イコライザー]にタッチします。

2 プリセットイコライザーのジャンルを選んでタッチします。

リストが多いときは、∧ ∨ にタッチするとリストを移動します。

3 ⮌ にタッチして終了します。

- 手順**2** で、 トーン にタッチすると、ユーザー独自のイコライザーカーブ(ユーザー)を設定できます(**P.44**)。
- プリセットイコライザーはソースごとに設定できます。

ユーザーイコライザーを設定する

ユーザー独自のイコライザーカーブ（ユーザー）を設定することもできます。ユーザーイコライザーは、ソースごとに設定できます。

1 [トーン]にタッチします。

SystemQ-Exが[OFF]のときは、調整できるのは各音域のレベルだけになります。

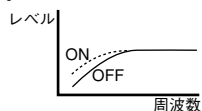
2 低音/中音/高音の音質を設定します。

[◄]または[►]にタッチして周波数、レベルまたはクオリティファクタ（Q Factor）を設定します。
Bass EXTをONに設定すると、低音の中心周波数が低域側に約20%伸びた状態になります。
[フラット]にタッチすると、全周波数帯のレベルが0に設定されます。
ウファーレベルは、「サブウファー」が[ON]のときにサブウファーの音量設定ができます(P.46)。

3 [⮌] にタッチして終了します。

低音/中音/高音
低音、中音、高音を調節する周波数（中心周波数）を、この機能を使って設定することができます。

Q Factor（クォリティファクタ）
低音、中音の調節スロープを設定する機能です。設定値が大きくなるほどスロープの傾斜が大きくなります。

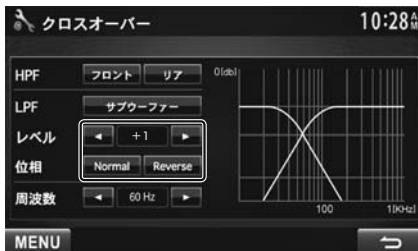
Bass EXT（バスエキステンデッド）
この機能をONに設定すると、低音中心周波数が低域側に約20%伸びた状態になります。

クロスオーバー周波数を変更する

フロント/リアスピーカーとサブウーファーのクロスオーバー周波数と、サブウーファーの位相と出力レベルを設定します。

1 [クロスオーバー]にタッチします。

2 フロント（またはリア）スピーカーとサブウーファーのクロスオーバー周波数を設定します。

◄ または ► にタッチして周波数(クロスオーバー周波数）を設定します。

3 サブウーファーのみ、位相と出力レベルの設定をします。

4 ⮌ にタッチして終了します。

- クロスオーバー周波数とは、フロント/リアスピーカーの場合はその周波数よりも低い成分をカットする周波数です。また、サブウーファーの場合は、その周波数よりも高い成分をカットする周波数です。この機能により、フロント/リアスピーカーでは低域成分、サブウーファーでは高域成分が出力されないようにできます。[Through(スルー)]に設定すると、この機能はオフになります。
- サブウーファーの設定はサブウファーが[ON]のとき設定できます（P.42)。また位相の設定はLPFが[Through(スルー)]以外のときに設定できます。

ソースの音量バランスをそろえる

各ソースの音量をCDの音量を基準にそろえるとソースを切り替えても、ほぼ同じ音量で聞くことができます。

1 [ソースボリューム]にタッチして音量を調節します。

◄ または ► にタッチして音量に合わせて調節します。

2 ⮌ にタッチして終了します。

・各ソースごとにソースボリュームを設定できます。

スピーカーの種類を設定する

車両のスピーカーの種類を設定します。

1 [スピーカ選択]にタッチしてスピーカーの種類を選びます。

Standard:
標準的なスピーカーに合う設定です。

Narrow:
周波数帯域が狭いスピーカーに合う設定です。

Middle:
低音域のあまり出ない小型のスピーカーに合う設定です。

Wide:
低音域のよく出る大型のスピーカーに合う設定です。

2 ⮌ にタッチして終了します。

表示設定

表示を設定する

本機の画面の明るさや表示方法など、表示に関する項目を設定します。

1 [MENU]ボタンを押して、メニュー画面を表示させ[設定]にタッチします。

2 [画面]にタッチします。

3 各項目を設定します。

リストが多いときは、∧ ∨にタッチするとリストを移動します。

4 [↩]にタッチして終了します。

- [オーディオ]、[画面]、[入力]、[システム]にタッチすると、設定項目を切り替えることができます。

設定できる項目は次のとおりです。

画面 *お買い上げ時の設定

項目	選択肢	説明
ディマー	オート*	画面と照明の明るさを車両のライトスイッチに連動して減光します。
	ON	常時減光します。
	OFF	減光しません。
ユーザーカスタマイズ	–	ボタンのイルミネーション色やディスプレイの背景画像を変更します(P.48、P49)。
映像中の時計表示	ON	映像表示画面に時計を表示します。
	OFF*	表示しません。
スクロール	ON*	ディスプレイに表示するファイル名などのテキスト文字を文字数が多いときにスクロール表示します。
	一回	1回だけスクロール表示します。
	OFF	スクロール表示しません。
メニューカスタマイズ	–	メニュー画面に表示する大きい3つのアイコンのソースを好きな順番に入れ替えられます(P.50)。
画像調整	–	画面の明るさや画面の黒色のレベルを設定します(P.50)。
Video Output	NTSC*	ビデオ出力端子のビデオ方式をNTSC方式に設定します。通常はこの設定でお使いください。
	PAL	ビデオ出力端子のビデオ方式をPAL方式に設定します。
パネル角度調整 DDX675	0〜6	画面が見やすくなるようにパネルの角度を調整します(P.12)。

イルミネーション色を設定する

ボタンのイルミネーションの色を設定します。

1 [画面]の[ユーザーカスタマイズ]にタッチします。

2 [キーカラー設定]にタッチします。

3 色のボタンにタッチします。

スキャンにタッチすると、イルミネーション色は時間とともに変化します。

ユーザー独自の色を作るときは...

ユーザー独自のイルミネーション色を作ることもできます。

1 前項3で[ユーザー]にタッチして[編集]にタッチします。

2 Red(赤)/Green(緑)/Blue(青)の ＋ または － にタッチして、新しい色を作ります。

ボタンの発光色を見ながら色を設定します。ディマーオンとオフを別々にイルミネーション色を設定できます。

3 [⮌] にタッチして終了します。

背景画像を読み込み変更する

再生している写真や映像を読み込んで、背景画像として設定します。読み込む写真や映像を再生しておきます。

- 著作権保護の写真や映像、iPod/iPhoneの写真や映像は読み込めません。
- 登録できる背景画像は1枚です。
- 画像（JPEGファイル）のサイズは、800x600ピクセルを推奨します。

1 [画面]の[ユーザーカスタマイズ]にタッチします。

2 [キャプチャー]にタッチします。

3 画像を調整します。

▶II	プレイまたは一時停止します。
I▶	一時停止のときに映像をコマ送りします。
⊕	タッチするたびにズーム倍率（ズーム1/2/3/オフ）が変わります。
▲ ▼ ◀ ▶	ズームした画像をタッチした方向に移動します。
キャンセル	読み込みを中止します。

4 [キャプチャー]にタッチします。

読む込む前に"上書きしますか？"と表示されます。読む込むときは [Yes] にタッチします。中止するときは [No] にタッチします。

5 [⮌] にタッチして終了します。

読み込んだ背景画像に変えるときは...

1 前項2で [ユーザー]にタッチします。

2 [⮌] にタッチして終了します。

ソースアイコンを好きな順番に並べる

メニュー画面のソースアイコンを好きな順番に並び替えることができます。

1 [画面]の[メニューカスタマイズ]にタッチします。

2 変更するアイコンにタッチします。

< / > にタッチしてソースアイコンを変更します。さらに変更したいときは同じ操作を繰り返します。

3 ⮌ にタッチして終了します。

画面の明るさを調節する

画面の明るさや画面の黒色のレベルを設定します。車両のライトスイッチに連動するディマーオンとオフを別々に設定できます。

1 [画面]の[画質調整]にタッチします。

2 DIM ONまたはDIM OFFにタッチしてから + または − にタッチして、各項目を調整します。

DIM ON:ディマーオン時の設定をします。
DIM OFF:ディマーオフ時の設定をします。

3 ⮌ にタッチして終了します。

調整できる項目は次のとおりです。

項目	説明
明るさ	明るさを調整します。 + 明るくなります。 − 暗くなります。
色の濃さ	黒色の明るさを調整します。 + 明るくなります。 − 暗くなります。

入力設定

入力を設定する

本機のAV-IN端子やリアカメラなど、入力に関する項目を設定します。

1 [MENU]ボタンを押して、メニュー画面を表示させ[設定]にタッチします。

2 [入力]にタッチします。

3 各項目を設定します。

4 [↩]にタッチして終了します。

- [オーディオ]、[画面]、[入力]、[システム]にタッチすると、設定項目を切り替えることができます。

設定できる項目は次のとおりです。

入力 *お買い上げ時の設定

項目	選択肢	説明
AV入力*1	AV-IN2	iPodの音楽とUSB機器、外部映像機器を楽しむときに選択します。(P.32、P.37)。
	iPod*	iPodの映像と音楽を楽しむとき設定します(P.32)。
リアカメラ割込み	ON	車両のギアをリバース(R)に入れたときに、リアビューカメラの映像に自動的に切り替ります(P.52)。
	OFF*	車両のギアをリバース(R)に入れてもリアビューカメラの映像を切り替えません。
ナビミュート*2	ON	接続されているナビゲーションシステムの音声ガイド時に、本機オーディオの音を小さくします(P.70)。
	OFF*	設定をオフします。

- *1 スタンバイのときに設定できます。
- *2 ナビミュート機能を使用する場合は、本機とナビゲーションシステムのラインミュート端子またはミュート端子を接続してください。ケンウッド製カーナビゲーションに接続して使用する場合は、ナビゲーションシステムの「オーディオATT」または「オーディオ接続設定」機能を[オン]に設定してください。
- 「セットアップメモリ」で[ロック]を選択すると鍵(🔒)マークの表示されている設定の項目が変更できなくなります(P.54)。

リアビューカメラを設定する

リアビューカメラの接続を設定します。

1 [入力]の[リアカメラ割込み]にタッチします。

リアビューカメラを使用しないときは、[OFF]にタッチします。

2 [⮌] にタッチして終了します。

リアビューカメラを接続したときは

リアビューカメラ（別売品）を接続すると、カメラの映像で後方確認をしてから車を後退させることができます。

> モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。

自動でリアビューカメラの映像を表示するときは…

車両のシフトレバーをリバース（R）にすると、リアビューカメラの映像が表示されます。

手動でリアビューカメラの映像を表示するときは…

[AUD] ボタンを1秒以上押すと、リアビューカメラの映像を表示します。キャンセルするには [AUD] ボタンを1秒以上押します。

DDX375 のときは…

システム設定の「AUDキーの長押し」設定を"R-CAM"に切り替えておきます(P.53)。

手動で映像を切り替えたときは、画面上部中央にタッチすると メニューコントロール画面を表示します (P.38)。

- リアビューカメラ映像を自動で表示するにはリバース検出コードの接続が必要です（P.70）。

システム設定

システムを設定する

本機の時計やオーディオ設定の保存、呼び出しなど、システムに関する項目を設定します。

1 [MENU]ボタンを押して、メニュー画面を表示させ[設定]にタッチします。

2 [システム]にタッチします。

3 各項目を設定します。

リストが多いときは、∧ ∨ にタッチするとリストを移動します。

4 [↩] にタッチして終了します。

・[オーディオ]、[画面]、[入力]、[システム]にタッチすると、設定項目を切り替えることができます。

設定できる項目は次のとおりです。

システム *お買い上げ時の設定

項目	選択肢	説明
時計	–	時計を調整します(P.13)。
操作音	ON*	画面のボタンにタッチしたときに操作音を出します。
	OFF	操作音を出しません。
リモコン受光部	–	本機では使用しません。
セットアップメモリー	–	設定したオーディオ設定を保存または呼び出します(P.54)。
AUDキーの長押し DDX375	R-CAM	本機のAUDボタンを1秒以上押すとリアビューカメラの映像を表示します(P.8)。
	画面OFF*	本機のAUDボタンを1秒以上押すと表示画面をオフします。(P.8)。
簡易セキュリティ	ON	ACC電源がオフのとき、インジケータを点滅させます(P7、P.8)。簡易セキュリティを設定しておくと、盗難防止の手助けになります。
	OFF*	点滅させません。
タッチパネル調整	–	画面にタッチして操作するときのタッチ位置を調整します(P.55)。
システム情報	–	システム情報を表示します(P.55)。

設定を保存する/呼び出す

オーディオ設定などの設定状態を保存します。
保存した設定はいつでも呼び出すことができます。本機をリセットしても保存した設定は消えません。

1 [システム]の[セットアップメモリ]にタッチします。

2 設定を保存または呼び出すときは[Yes]にタッチします。

Yes 設定を保存または呼び出します。

No 設定を中止して設定画面に戻ります。

ロック オーディオ設定などをロックします。選択すると鍵( )マークの表示されている設定の項目が変更できなくなります。

ロック解除 ロックを解除します。

3 動作を選択します。

呼び出し 保存されている設定を呼び出します。

保存 現在の設定状態を保存します。

クリア 保存されている設定をクリアします。

キャンセル 設定を中止します。

4 保存または呼び出しを実行します。

設定を保存するときは...

確認のメッセージが表示されます。
保存するときは Yes 、保存しないときは No にタッチします。

設定を呼び出すときは...

確認のメッセージが表示されます。
呼び出すとき Yes 、呼び出さないときは No にタッチします。

保存されている設定をクリアするときは...

確認のメッセージが表示されます。
クリアするときは Yes 、クリアしないときは No にタッチします。

5 ⮌ にタッチして終了します。

タッチ位置を調整する

画面にタッチして操作するときのタッチ位置を調整します。

1 [システム]の[タッチパネル調整]にタッチします。

2 ⊕にタッチします。

画面に表示されるメッセージに従って⊕マークの中央にタッチします。
キャンセル: 操作を中止します。
リセット: 初期状態に戻します。

システムをアップデートする

本機のシステムファームウエアをアップデートします。
アップデートに関する情報は、当社ホームページhttp://www2.jvckenwood.com/cs/car/をご覧ください。

1 USB機器にシステムアップデートファイルをコピーしてUSB端子に接続します。

2 [システム]の[システム情報]にタッチします。

3 該当する項目にタッチします。

4 アップデートが終了したら本機をリセットします(P.6)。

・ アップデート中は本機の電源をオフにしないでください。

DVD言語コード表

DVD言語コード表

コード	言語
AA	アファル語
AB	アブバジア語
AF	アフリカーンス語
AM	アムハラ語
AR	アラビア語
AS	アッサム語
AY	アイマラ語
AZ	アゼルバイジャン語
BA	バシキール語
BE	ベラルーシ語
BG	ブルガリア語
BH	ビハーリー語
BI	ビスラマ語
BN	ベンガル語、バングラ語
BO	チベット語
BR	ブルトン語
CA	カタロニア語
CO	コルシカ語
CS	チェコ語
CY	ウェールズ語
デンマーク語	デンマーク語
ドイツ語	ドイツ語
DZ	ブータン語
EL	ギリシャ語
英語	英語
EO	エスペラント語
スペイン語	スペイン語
ET	エストニア語
EU	バスク語
FA	ペルシャ語
FI	フィンランド語
FJ	フィジー語
FO	フェロー語
フランス語	フランス語
FY	フリジア語
GA	アイルランド語
GD	スコットランドゲール語
GL	ガルシア語
GN	グアラニ語
GU	グジャラート語
HA	ハウサ語
HI	ヒンディー語
HR	クロアチア語
HU	ハンガリー語
HY	アルメニア語
IA	国際語
IN	インドネシア語
IE	国際語
IK	イヌピアック語
IS	アイスランド語
イタリア語	イタリア語
IW	ヘブライ語
JA	日本語
JI	イディッシュ語
JW	ジャワ語
KA	グルジア語
KK	カザフ語
KL	グリーンランド語
KM	カンボジア語
KN	カンナダ語
KO	韓国語
KS	カシミール語
KU	クルド語
KY	キルギス語
LA	ラテン語
LN	リンガラ語
LO	ラオス語
LT	リトアニア語
LV	ラトビア語、レット語
MG	マダガスカル語
MI	マオリ語
MK	マケドニア語
ML	マラヤーラム語
MN	モンゴル語
MO	モルダビア語
MR	マラータ語
MS	マレー語
MT	マルタ語
MY	ミャンマー語
NA	ナウル語
NE	ネパール語
オランダ語	オランダ語
NO	ノルウェー語
OC	プロバンス語
OM	(アファン)オロモ語
OR	オリヤー語
PA	パンジャブ語
PL	ポーランド語
PS	パシュトー語
ポルトガル語	ポルトガル語
QU	ケチュア語
RM	ラエティ=ロマン語
RN	キルンディ語
RO	ルーマニア語
ロシア語	ロシア語
RW	キニヤルワンダ語
SA	サンスクリット語
SD	シンド語
SG	サンゴ語
SH	セルボ=クロアチア語
SI	シンハラ語
SK	スロバキア語
SL	スロベニア語
SM	サモア語
SN	ショナ語
SO	ソマリ語
SQ	アルバニア語
SR	セルビア語
SS	シスワティ語
ST	セストゥ語
SU	スンダ語
スウェーデン語	スウェーデン語
SW	スワヒリ語
TA	タミール語
TE	テルグ語
TG	タジク語
TH	タイ語
TI	ティグリニャ語
TK	トゥルクメン語
TL	タガログ語
TN	セツワナ語
TO	トンガ語
TR	トルコ語
TS	ツォンガ語
TT	タタール語
TW	トウィ語
UK	ウクライナ語
UR	ウルドゥー語
UZ	ウズベク語
VI	ベトナム語
VO	ボラピュク語
WO	ウォロフ語
XH	コーサ語
YO	ヨルバ語
ZU	ズール語
中文	中国語

本機で再生できるディスクメディア

本機では、下記のディスクを再生できます。

ディスク再生対応一覧表

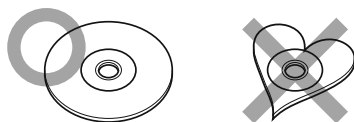
分類	規格	対応	説明
DVD	DVDビデオ	○	−
	DVDオーディオ	×	−
	DVD-R	○	MP3/WMA/AAC/WAV/JPEG/MPEG1/2 再生可能 VRモード対応（DVD-R/RWのみ） CPRM対応
	DVD-RW	○	
	DVD+R	○	
	DVD+RW	○	
	DVD+R DL（2層）	○	ビデオフォーマットのみ再生可能
	DVD-R DL（2層）	○	
	DVD-RAM	×	−
CD	音楽CD	○	8cmディスク非対応
	CD-ROM	○	MP3/WMA/AAC/WAV/JPEG再生可能 パケットライト非対応
	CD-R		
	CD-RW	○	
	DTS-CD	×	−
	ビデオCD (VCD)	○	−
	スーパービデオCD	×	−
	フォトCD	×	−
	CD-EXTRA	△	音楽CD部分のみ再生可能
	HDCD	△	通常の音楽CDの音質
	CCCD	×	−
その他	デュアルディスク	×	−
	スーパーオーディオCD	△	CD層のみ再生可能

○：再生可能　△：一部再生可能　×：再生できません

• 本機で再生可能な音楽CDは、下記 マークの入ったCDだけです。下記マークの入っていないディスクは、正しく再生できない場合があります。

• ファイナライズ処理を行っていないCD-R/RWおよびDVD-R/RWは再生できません（ファイナライズ処理については、お使いのライティングソフトやレコーダーのマニュアルをご覧ください）。
• その他、CD-R/RW、DVD-R/RW、およびDVD+R/RWは、記録状態によっては再生できない場合があります。

使用できるディスク

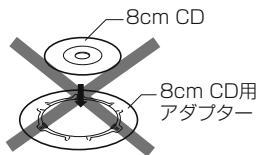
特殊な形状のディスクは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。

記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているディスクは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。
レーベル面にシールの貼ってあるディスクを使用すると、ディスクが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるディスクは使用しないでください。
インクジェットプリンタでレーベル面に印刷可能なCD-R/RW、DVD-R/RW、およびDVD+R/RWは使用しないでください。使用すると、誤動作することがあります。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。
このようなときは、ディスクを取り出して約１時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。
もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

ディスク用アクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。

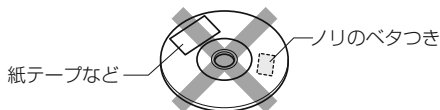
8cmCDアダプターは使用しないでください。
8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

レンズクリーナーについて

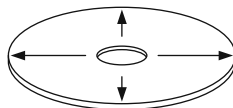
レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

ディスクの取り扱いについて

ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。
取り扱いは記録面に触れないようにしてください。
（レーベルが印刷されていない面が記録面です。）

CD-R/RWやDVD-R/RW、DVD+R/RWは 通 常 のディスクより反射膜が弱いため、傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取り扱いには十分注意をしてください。
詳細な注意事項がディスクのパッケージなどにも書かれています。それらの注意事項も読んでから使用してください。

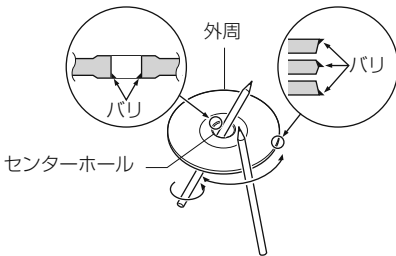
記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。
ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどのノリがはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままディスクプレーヤーにかけるとディスクが取り出せなくなったり、故障することがあります。

ディスクのお手入れ

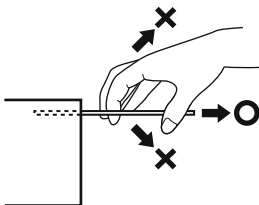
ディスクが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。
従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。

ディスクの保存

直射日光があたる場所（シートやダッシュボードの上）など、温度が高くなる場所には置かないでください。
特にCD-R/RWやDVD-R/RW、DVD+R/RWは通常のディスクに比べて高温、多湿の環境に弱く、車内に長時間放置すると使用できなくなる場合があります。

長期間演奏しないときは、本機からディスクを取り出して、ケースに入れて保管してください。
キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

新しいディスクを使うときは

新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールや外周部に“バリ”がないことを確認してください。
"バリ"がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。

ディスクの取り出しかた

本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。
下側や上側に強く押しながら引き出すとディスクの記録面に傷を付ける原因となります。

DVDのリージョン番号

本機で再生できるDVDリージョン番号（国ごとに割り当てられた番号）は「2」（または2を含むもの）と「ALL」です。
DVDディスクに表示されているリージョン番号が本機と一致しないと、本機では再生できません。

DVDディスクのマーク

記号	内容
ALL	リージョン番号を表します。このマークが付いているディスクはどのDVDプレーヤーでも再生できます。
8	収録されている音声の言語数を表します。1本の映画の中に最大8つの言語を収録できます。お好みの音声で聞くことができます。
32	収録されている字幕スーパーの言語数を表します。32カ国語まで収録できます。
9	複数のアングルで撮影された映像が記録されていれば、お好みのアングル（角度）で見ることができます。
16:9 LB	映像の画面タイプを表します。左のマークでは標準のテレビ（4:3）で見た場合、ワイド映像（16:9）は上下に黒帯の入る（レターボックス）映像となります。

操作規制マークについて

DVDは、再生箇所により本機での再生操作等規制される場合があります。このようなときは下記のマークが映像上に表示されます。内容についてはディスクのマニュアルをご覧ください。

本機で再生できるメディア

本機で再生するオーディオ/ビデオファイルを記録するメディアに関する注意事項を説明します。

(1) 使用できるメディア

使用できるディスク

使用できるオーディオファイルを収録するためのメディアは、CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R/RW、およびDVD+R/RWです。

使用できるUSB機器

本機で使用できるUSB機器の条件は次のとおりです。
- USB1.1/ 2.0
- MSC（USBマスストレージクラス）対応品
- 最大消費電流が1A以下

上記を満たしていないUSB機器は接続しないでください。正しく再生できません。
また、上記を満たしているUSB機器でも、機種や状況によって、正しく再生できない場合があります。

(2) 使用できるフォーマット

ディスクフォーマット

本機で使用できるディスクは、以下のフォーマットです。
- ISO 9660 Level 1
- ISO 9660 Level 2
- Joliet
- Romeo
- UDF 1.02/1.50/2.00/2.01/2.50

使用できる文字は、ライティングソフトの説明書および下記「(3)ファイル名とフォルダ名の入力」をご覧ください。
ただし、本機で再生できるディスクには以下の制限があります。
- １フォルダ中の最大ファイル数：999
- 最大フォルダ数：250

前記のフォーマット以外で書き込まれたオーディオファイルやビデオファイルは、正常に再生されなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

USB機器のフォーマット

本機で使用できるUSB機器は、以下のフォーマットです。
- FAT32、FAT16

ただし、本機で再生できるUSB機器には以下の制限があります。
- １フォルダ中の最大ファイル数：999
- 最大フォルダ数：250

(3) ファイル名とフォルダ名の入力

ファイル名とフォルダ名は、半角英数文字、カナ文字、または日本語で入力できます。これら以外の文字で入力されたファイル名およびフォルダ名は、正常に表示されません。また、使用するライティングソフトやディスクフォーマットによって、表示できる文字が制限される場合があります。詳しくは、ライティングソフトの説明書をご覧ください。
また、オーディオファイルやビデオファイルと認識されて再生されるファイルは、“.mp3”、“.wma”、“.m4a”、“.wav”、“.mpg” の拡張子が付いたものだけです。各形式のファイルには、正しく 拡張子を付けてください。間違った拡張子を付けるとファイルを誤認識して再生されてしまい、大きな雑音が出てスピーカーなどを破損する恐れがあります。
なお、本機で表示できる文字数はファイル名によって異なります。

(4) ID3/ WMA Tagについて

本機で表示できるID3 Tagは、ID3 Tag v1.x、2.2、2.3、または2.4規格で記録された曲名、アーティスト名、およびアルバム名です。また、表示できる文字はシフトJISです。ただし、正しく表示できない文字もあります。

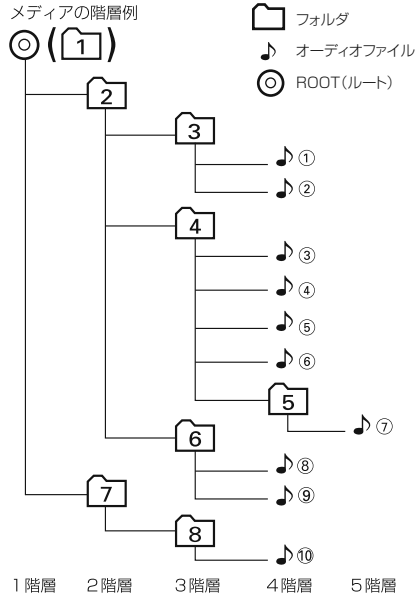
(5) メディアに収録するファイルについて

本機は、オーディオファイルやビデオファイルが収録されているメディアを挿入/接続すると、最初に メディア内のすべてのファイルをチェックします。このため、再生するメディアに多くのフォルダやオーディオファイルやビデオファイル以外のファイルを書き込むと、再生するまで長時間必要になります。
また、次のオーディオファイルやビデオファイルの再生に移るまで時間がかかったり、ファイルサーチやフォルダサーチがスムーズに行えない場合があります。

(6) 著作権保護されたファイルについて

本機では、コピープロテクトや著作権管理が設定されているオーディオファイルは、再生できません。
個人的に楽しむなどの場合を除き、音楽や映像などの著作物を著作権利者の許諾を得ずに複製(録音)、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

(7) オーディオ/ビデオファイルを再生する順番

再生、ファイルスキップ、フォルダスキップでファイルやフォルダが選択される順番は、ディスクではライティングソフトで書き込まれた順番、USB機器ではファイル名の昇順です。このため、再生されると予想していた順番と実際に再生される順番が一致しないことがあります。
ライティングソフトにもよりますが、“01”～“99”などとファイル名の頭に再生する順番を入力してからCD-Rなどに書き込むことで、再生する順番を設定できることがあります。
以下のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでフォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトを行った場合は、次のようになります。

(8) ご使用上の注意事項

- 本機で再生するオーディオ/ビデオファイルは、必ずバックアップを作成しておいてください。予期せぬ自体で、ファイルが破壊される場合があります。
- USBケーブルを延長する場合は、USB延長ケーブルCA-U1EX (別売品:最大電流500mA)をご使用ください。USB規格以外のケーブルを使用したり、総延長が5mを超えると、USB機器が正常に動作しなくなる場合があります。
- USB機器は、車内に放置しないでください。直射日光や高温で、変形や故障の原因になります。
- USBハブを介してUSB機器を認識させることはできません。
- 2つ以上のパーティションに分かれているUSB機器は使用しないでください。

本機で再生できるオーディオ/ビデオ/ピクチャーファイル

本機で再生できるメディアとオーディオ/ビデオ/ピクチャーファイルの種類は以下通りです。

オーディオファイル

- プレイできるオーディオファイル
  AAC-LC、MP3、WMA、リニアPCM (WAV)
- 拡張子
  m4a、mp3、wma、wav
- ビットレート
  AAC: 16～320 kbps(VRB対応)
  MP3/WMA: 32～320 kbps(VRB対応)
- サンプリング周波数
  AAC: 44.1/ 48 kHz
  MP3: 16/ 22.05/ 24/ 32/ 44.1/ 48 kHz
  WMA: 32/ 44.1/ 48 kHz
  WAV: 44.1 kHz

ビデオファイル

- プレイできるビデオファイル
  MPEG1、MPEG2
- 拡張子
  mpg、mpeg、mod
- 音声フォーマット
  MPEG1 Audio Laer-2/Dolby Digital

  再生可能な最大映像転送レートは、
  4Mbps(ディスク)、2Mbps（USB）です。

ピクチャファイル

- プレイできるピクチャファイル
  JPEG
- 拡張子
  jpg、jpeg
  プログレッシブJPEG、ロスレスJPEGは対応していません。
- 再生可能画像サイズ
  32 x 32～8,192 x 7,680ピクセル

ご使用上の注意事項

- オーディオ/ビデオ/ピクチャーファイルのフォーマットによっては、本機で再生/表示できない場合があります。
- CD-DAとオーディオファイルを1枚のディスクに記録した場合、CD-DA部分のみが再生されます。
- USB機器内のオーディオ/ビデオ/ピクチャーファイルは、破損する場合があります。必ずバックアップを作成しておいてください。
  ファイルが失われたことによる損害につきましては、当社は一切補償いたしません。

iPod/iPhoneについて

本機でコントロールできるiPod/iPhoneについて

本機からコントロールできるiPod/iPhoneは以下のとおりです。
Made for
• iPod nano (7th generation)*
• iPod nano (6th generation)
• iPod nano (5th generation)
• iPod nano (4th generation)
• iPod nano (3rd generation)
• iPod classic
• iPod with video
• iPod touch (5th generation)*
• iPod touch (4th generation)
• iPod touch (3rd generation)
• iPod touch (2nd generation)
• iPod touch (1stgeneration)
• iPhone 5*
• iPhone 4S
• iPhone 4
• iPhone 3GS
• iPhone 3G
*音楽再生のみに対応しています。

- 本書では上記iPodおよびiPhoneをまとめて「iPod」と呼びます。
- iPod/iPhoneに“アクセサリが接続中”または“KENWOOD”と表示されているときは、iPod/iPhoneの操作はできません。
- 本機に別売品のiPod接続ケーブル（KCA-iP102、KCA-iP202）またはをiPod/iPhoneに付属の接続ケーブルを使用してiPod/iPhoneを接続すると、iPod/iPhoneに電源を供給し、音楽などを再生中でも充電ができます。ただし、本機の電源がオンになっている必要があります。
- 本機で表示できる文字はシフトJISです。ただし、正しく表示できない文字もあります。
- iPod/iPhoneのソフトウェアに関する適合情報は下記URLを参照してください。
  http://www.kenwood.com/cs/ce/ipod/
- 接続しているiPod/iPhoneにより、使用できる機能が異なります。詳しくは下記URLを参照してください。
  http://www.kenwood.com/cs/ce/ipod/

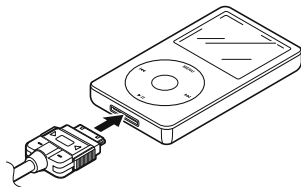
接続ケーブルについて

本機にiPod/iPhoneを接続するときは、別売のiPod接続ケーブル、またはiPod/iPhoneに付属の接続ケーブルが必要です。

音楽を聞く場合
KCA-iP102
iPod/iPhoneに付属の接続ケーブル*

音楽を聞く/ ビデオを見る場合
KCA-iP202

iOS アプリケーションを使う場合
KCA-iP102/KCA-iP202
iPod/iPhoneに付属の接続ケーブル*

* iPhone5、iPod touch 5th generation、iPod nano 7th generationをご使用になる場合はiPod/iPhoneに付属の接続ケーブル必要です。iPod/iPhoneに付属の接続ケーブルは車内に放置しないでください。

故障かな?と思ったら

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターへご相談ください。

共通

症状	考えられる原因	対処方法
電源がオンにならない。	ヒューズが切れている。	コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
	電源コード、入出力ケーブルなどの接続が間違っている。	お買い上げの販売店で接続を確認してください。
画面が暗い。	モニターの温度が低い。	液晶パネルの特性上、モニターの温度が下がっているときは、電源をオンにしたときに、通常より暗い場合があります。電源をオンにして温度が上がるまでしばらくお待ちください。通常の明るさに戻ります。
	画質設定の明るさが低い。	画質設定の明るさを調整してください(**P.39**)。
画面が見にくい。	見る角度によってコントラスト、明るさが変わります。	コントラスト、明るさを調整してください(**P.39**)。
映像の色調がおかしい。	—	画質を調整してください(**P.39**)。
リアビューカメラに切り替わらない。	リアビューカメラが正しく接続されていない。	接続/取り付けを参照して、正しく接続してください。
	リアビューカメラの設定が“OFF”になっている。	リアビューカメラの設定を“ON”にしてください(**P.52**)。
音が出ない/音が小さい。	バランス、フェダーが片方に寄っている。	バランスやフェダーを正しく調整してください(**P.43**)。
	入出力ケーブルなどの接続が間違っている。	お買上げの販売店で、接続を確認してください。
音質が悪い(音がひずむ)。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。
	スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。	スピーカーの配線を確認してください。
	スピーカーの配線が間違っている。	スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。

AV機能

症状	考えられる原因	対処方法
映像が乱れる。	コードやケーブルが干渉している。	モニターの配線の時は、コードやケーブルを束ねないようにしてください。
映像が映らない。	走行している。	走行中は映像を見ることができません。

ディスク再生

症状	考えられる原因	対処方法
ディスクの再生中に振動で映像や音が切れる。	取り付け角度が30°を超えている。	30°以内になるように取り付けしなおしてください。
	取り付けが不安定になっている。	しっかりと取り付けなおしてください。なお、駐停車中でも音飛びする場合やディスクの同じところで音飛びする場合は、ディスクに原因があります。
ディスクを再生できない。	ディスクが裏返しになっている。	レーベル面を上にして入れなおしてください。
	ディスクが異常に汚れている。	ディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
	本機内部が結露している。	ディスクを取り出し、しばらく放置(約1時間)してから使用してください。
CD-R、CD-RWが再生できない。	ファイナライズ処理を行っていない。	CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーのマニュアルをご覧ください。
DVDの禁止マーク"⃠"が画面に表示されて、操作ができない。	ディスクが禁止している操作や、無効な操作を行っている。	ディスクが禁止している操作や、無効な操作をしたときは、禁止マークが表示されます。禁止マークの表示中は操作はできません。
トラックなどの名称が正しく表示されない。	本機で表示できない文字が名称に含まれている。	本機では、半角英数字と日本語が表示できます。これ以外の特殊な文字は、表示できない場合があります。

ファイル再生

症状	考えられる原因	対処方法
ファイルを再生できない。	ディスクフォーマットが、本機で再生できないフォーマットで記録されている。	再生できるディスクフォーマットを確認してください (**P.60**)。
	ファイルに拡張子が付いてない。	正しい拡張子を付けてください (**P.62**)。
	ディスクに傷や汚れがある。	ディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
ファイルを再生中に音飛びする。	ディスクに傷や汚れがある。	ディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
ファイルの再生が始まるまで時間がかかる。	ディスクに記録されているフォルダ/ファイル/階層が多い。	最初にディスク内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているメディアを使用すると、再生されるまで長時間かかる場合があります。

iPod/iPhone

症状	考えられる原因	対処方法
iPod/iPhoneが認識されない。	iPod接続ケーブルKCA-iP102（別売品）、KCA-iP22F（別売品）またはiPod/iPhoneに付属の接続ケーブルが正しく接続されていないか、iPodが正しく動作していない。	iPod接続ケーブル（別売品）またはiPod/iPhoneに付属の接続ケーブルで接続してください。それでもiPod/iPhoneが認識されない場合は、iPod/iPhoneをリセットしてください。
iPod/iPhoneをコントロールできない。	iPod/iPhoneにヘッドフォンなどが接続されたまま、本体に接続した。	iPod/iPhoneを本体から取り外し、iPod/iPhoneからすべての機器を取り外してから接続しなおしてください。
	iPod/iPhoneが異常状態になっている。	• iPod/iPhoneメニューに表示されるリセットではなく、iPod/iPhone本体のリセットを行ってください。 • iPod/iPhoneを本機から取り外し、iPod/iPhoneの電源を入れなおしてください。
iPod/iPhoneの曲を再生できない。	コネクタが正しく接続されていない。	カチッと音がするまで、しっかりと接続してください。
音が歪む。	iPodのEQ機能（イコライザー機能）がオンになっている。	オフにしてください。
充電完了までに時間がかかる。	—	充電を目的とする場合は、iPodの再生を停止することをお勧めします。
iPod/iPhoneの充電ができない。	本機の電源が入っていない。	本機の電源を入れてください。
本機に接続すると、iPod/iPhoneの操作ができなくなる。	APPモードがオフになっている。	本機と接続中は、iPod/iPhoneの操作は本機側から行ってください。iPod/iPhone側で操作する場合は、APPモードをオンにしてください(**P.36**)。

USB

症状	考えられる原因	対処方法
USB機器を認識しない。	USBコネクタが正しく接続されていない。	USB機器やUSBケーブルのコネクタを確実に接続してください。
	USB延長ケーブルが長いため、データの品質が悪くなっている。	USB延長ケーブルを使用しない接続をしてください。
USB機器内のオーディオ/ビデオファイルが再生できない。	オーディオ/ビデオファイルが本機で再生できるフォーマットで記録されていない。	再生できるフォーマットを確認してください (**P.60**)。

次のメッセージが表示された場合は、一覧に従って対処してください。

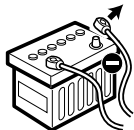
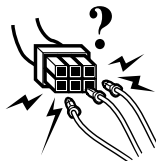
メッセージ	考えられる原因	対処方法
認証エラー	サポートされていないiPod/iPhoneを接続した。	「本機でコントロールできるiPod/iPhoneについて」で、接続しているiPod/iPhoneが本機で使える機種かどうか確認してください(**P63**)。
接続されていません	• iPod/iPhoneが接続されていないときに、ソースをiPodに切り替えた。 • iPod/iPhoneを取り外した。	iPod/iPhoneを接続してください。
デバイスがありません	• USB機器が接続されていないときに、ソースをUSBに切り替えた。 • USB機器を取り外した。	USB機器を接続してください。
映像信号がありません	• AV-IN端子に接続した外部AV機器の映像が再生されていない。 • リアビューカメラの映像信号が入力されていない。	AV-IN入力の映像機器またはリアビューカメラのケーブルが正しく接続されているか確認してください。
接続エラー 電圧エラー	スピーカーのコードショートまたは車両のシャーシに接触したために保護回路が働いた。	接続/取り付けを参照して、スピーカー接続を確認してください。接続を正しく直したら本機をリセットしてください(**P.6**)。 接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、ケンウッドサービスセンターにご相談ください。
パーキングオフ	走行中に映像を見ようとした。	走行中は映像を見ることができません。
USBデバイスエラー	サポートされていないUSB機器を接続した。	USB機器を取り外し、本機の電源をオフした後、USB機器を接続してください。それでもエラー表示が消えない場合は、USB機器をフォーマットするか、他のUSB機器を使用してください。

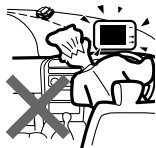
接続/取り付け

接続/取り付け上のご注意

警告

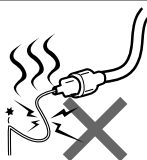
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本機はDC12V⊖アース車専用です。

配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。

本機の配線は必ず、接続/取り付けに記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。

本機を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けないでください。交通事故やケガの原因となります。

本機を取り付けるときには、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。
また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けないでください。事故などの原因となります。

規車両電源配線用コード以外で延長しないでください。
コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。

⚠ 警告

車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。
コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。

バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機ヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。
また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本機との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。
車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。

電源端子およびスピーカー端子のカバーが、端子の先端より長い場合は、接続が不完全になる場合があります。このような場合は、カバーの長さを端子の長さと同じになるように切り取ってください。

車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。

本機の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。

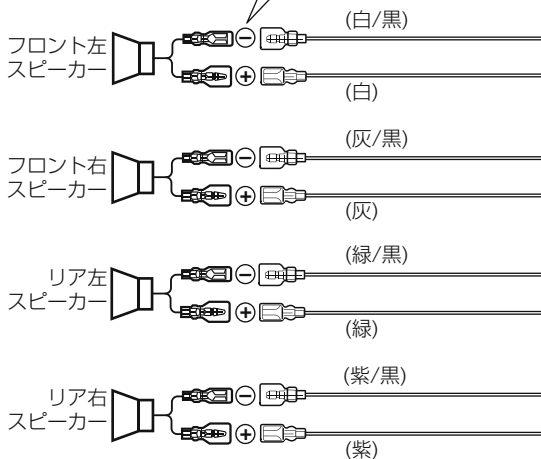
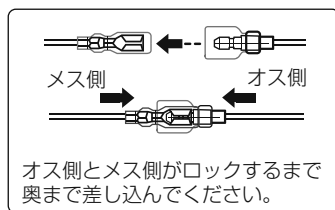
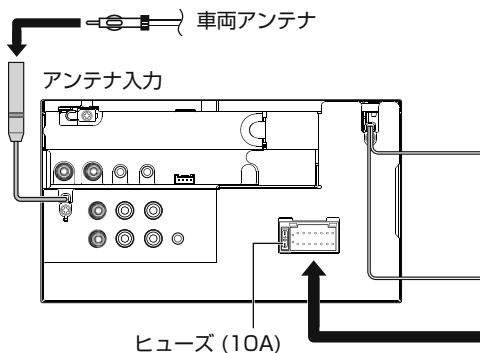
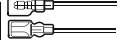
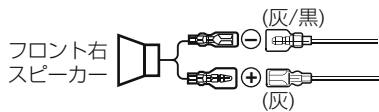
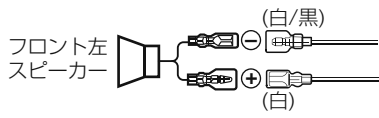
本機、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。
規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

本機は自動車のコンソールに設置してください。
本機を使用直後は、本体の背面や側面などの金属部分が熱くなっています。直接触ることはお止めください。火傷をする場合があります。

接続手順

初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの ⊖ 端子を外してください。

1. エンジンキーを抜きます。
2. バッテリーの ⊖ 端子を外します。
3. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
4. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
5. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリー電源コード（赤）の順に接続します。
6. 電源ハーネスのコネクターを本機に接続します。
7. 取り付け終了後に、バッテリーの ⊖ 端子を接続します。
8. 電源をオンします。
9. 本機のリセットボタン (P.6) を押します。

注意

- スピーカーコードの ⊕ ⊖ 端子を車のシャーシなどに接触させないでください。
- 複数のスピーカーコードの ⊖ 端子を共通にして接続しないでください。

ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、**ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。**規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

リバース検出コード（紫/白）
REVERSE

リアビューカメラを使用するときは、市販の中継コネクターなどを使って、車両のリバースランプハーネスに接続します。

パーキングブレーキ検出コード（若草）
PRK SW

延長ハーネス（付属品）2m

市販の中継コネクターなどを使って、車両のパーキングブレーキ検出スイッチハーネスに接続します。安全のため、パーキングブレーキ検出コードを確実に接続してください。

電源ハーネス（付属品）
「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

アンテナコントロール（青）
ANT.CONT

ガラスプリントアンテナ、シュートポールアンテナのブースターアンプの電源部分やオートアンテナのコントロール端子に接続してください。(12V DC、300mA以内でご使用ください) 接続しない場合は、キャップを外さないでください。

パワーコントロール（青/白）
P.CONT

パワーアンプ（別売品）のパワーコントロール端子に接続します。接続しない場合は、キャップを外さないでください。

ミュート入力（茶）
MUTE

ケンウッド製のカーナビゲーションシステムのミュート端子に接続してください。ケンウッド製以外のカーナビゲーションシステムに接続すると誤動作する場合があります。誤動作する場合は、P.51の「ナビミュート」を "OFF" に設定してください。

イルミネーション（橙/白）
ILLUMI

ライトスイッチでオン/オフされる電源に接続してください。

（水色/黄）
STEERING WHEEL REMOTE INPUT
REMOTE CONT

接続しません。

エンジンキー

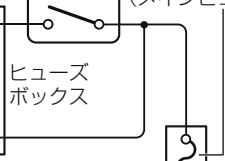
ヒューズボックス（メインヒューズ）

アクセサリー電源（赤）⊕
エンジンキーでオン/オフできる電源へ接続してください。
ACC

ACC

ヒューズボックス

バッテリー電源（黄）⊕
メインヒューズを通ったあとで、エンジンキーのオン/オフに関係なく常に電圧のかかっている電源へ接続してください。
BATT

アース（黒）⊖ 車の金属部分（バッテリーのマイナス側と導通しているシャーシなどの一部）へ接続してください。

バッテリー

周辺機器の接続

リアビューカメラ、サブウーファー、外部映像機器などを接続します。

USB入力
USB機器やiPod/iPhoneを接続します。
USB入力の接続方法は次ページをご覧ください。

リアビューカメラ映像入力
リアビューカメラ（別売品）を接続します。
- 映像入力（黄）

映像/音声入力（AV-IN1）
CA-C3AV(別売品)ケーブルを使用して外部機器などに接続します。市販の4極ミニプラグ付ビデオケーブルは本機では使用できません。

映像/音声入力（iPod/AV-IN2）
入力設定がAV-IN2のときは、CA-C3AV(別売品)ケーブルを使用して外部機器などに接続します。市販の4極ミニプラグ付ビデオケーブルは本機では使用できません。
入力設定が"iPod"のときの接続方法は次ページをご覧ください。

映像/音声出力
リアモニター（別売品）などに接続します。
- 映像出力（黄）
- 音声出力ミニジャック（3.5mmΦ）
  （抵抗なしのミニプラグ付ケーブルで接続します。）

プリアウト（フロント）
パワーアンプ(別売品)などに接続します。
- 左音声出力（白）
- 右音声出力（赤）

プリアウト（リア）
パワーアンプ(別売品)などに接続します。
- 左音声出力（白）
- 右音声出力（赤）

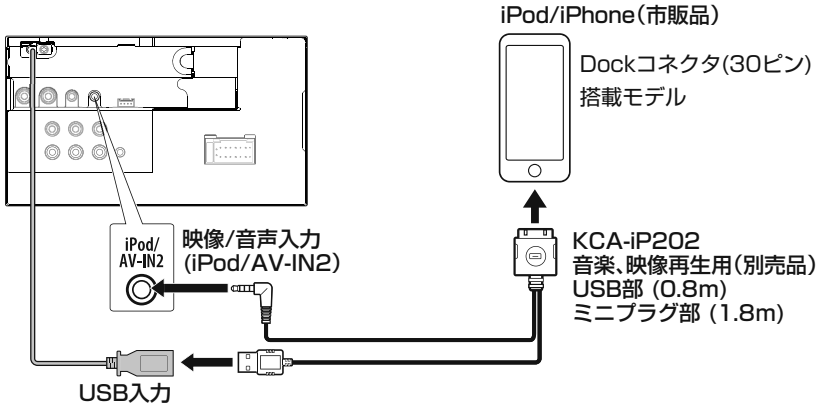
サブウーファープリアウト
サブウーファー用パワーアンプ(別売品)などに接続します。モノラル出力になります。
- 左音声出力（白）
- 右音声出力（赤）

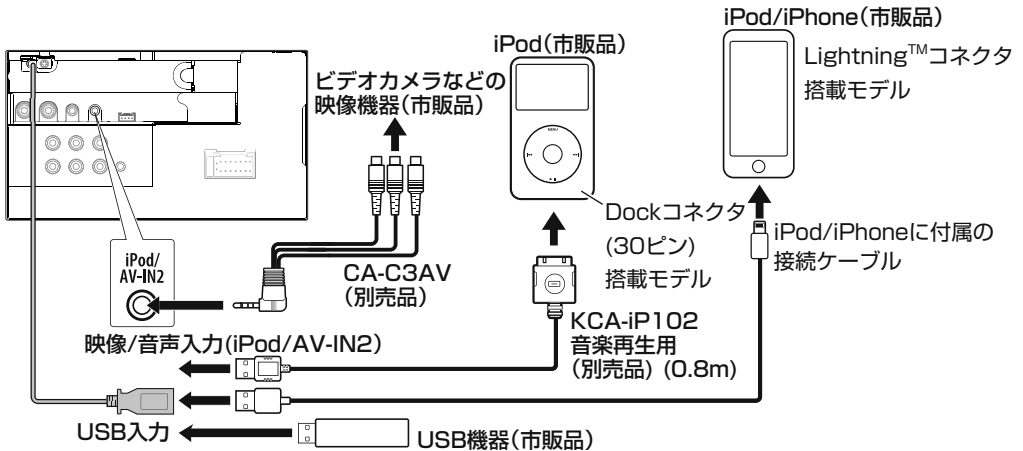
- リアビューカメラ、サブウーファーを接続したときには、ご使用前に設定が必要です（P.42、P.51）。

市販品の接続

映像/音声入力（iPod/AV-IN2）端子の設定を切り替えて下図のような接続ができます。
iPod/iPhone、USB機器、外部映像機器を別売品のケーブルを使って接続します。

■ iPod/iPhoneの映像と音楽を楽しむときは...

• 本機の設定のAV入力設定を"iPod"にします（**P.12，P.51**）。

■ iPod/iPhoneの音楽とUSB機器/外部映像機器を楽しむときは...

• 本機の設定のAV入力設定を"AV-IN2"にします（**P.12，P.51**）。

• iPhone5、iPod touch 5th generation、iPod nano 7th generationをご使用になる場合はiPod/iPhoneに付属の接続ケーブルが必要です。iPod/iPhoneの接続ケーブルは車内に放置しないでください。

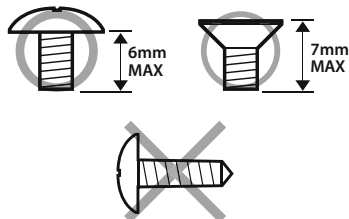
• USB機器に使用する延長用USBケーブルにはCA-U1EX（別売品：最大電流500mA）をお勧めします。

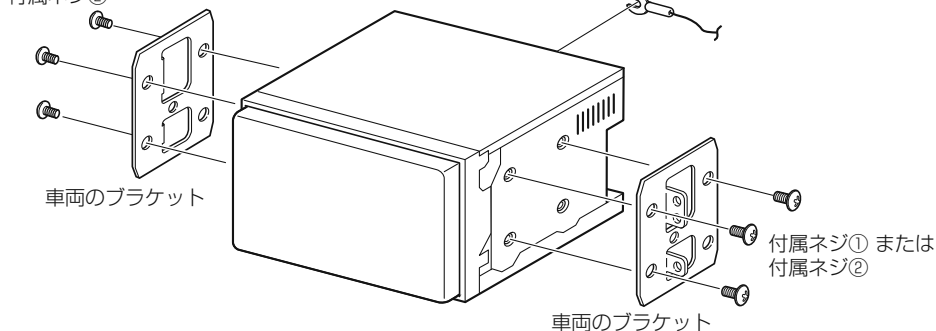
本体の取り付け

付属のトラスネジ(M5x6mm)またはサラネジ(M5x7mm)6本を使って、車両のブラケットに取り付けます。

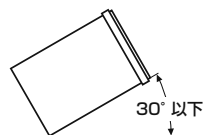
注 意

取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。

付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊したり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。なお、取り付けネジはトラスネジまたはサラネジが付属しています。車両に合ったネジをご使用ください。

本機に付属しているネジ

①		トラスネジ（M5×6 mm）	6本
②		サラネジ（M5×7 mm）	6本
③		セムスネジ（M4×8 mm）	1本

・別売品のワイヤリングキットや取り付けキットを使用すれば、ご使用のお車に最適の方法で取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。詳しくは販売店にお問い合わせください。

注意

・本機の取り付け角度は 30˚ 以下になるように取り付けてください。
30˚ 以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。
・操作パネルを持って本体の取り付け、取り外しをしないでください。
破損することがあります

用語解説

主な用語を解説します。

AAC
「Advanced Audio Coding」の略称で、高圧縮かつ高音質が特長の音声圧縮方式です。

MP3（エムピースリー）
「MPEG Audio Layer 3」の略称で、音声圧縮方式の国際規格です。

MPEG（エムペグ）
規格を作成した組織「Moving Picture Experts Group」の略称で、ビデオ、オーディオ、およびシステムまで含めた国際規格です。

MSC（マスストレージクラス）
追加プログラムなしで、パソコンに外部記憶装置として認識されるUSB機器の規格です。

WMA（ダブリュエムエー）
「Windows Media™ Audio」の略称で、米国Microsoft社が開発した音声圧縮符号化方式です。

イコライザー
本機には、プリセットイコライザーとユーザーイコライザーの2種類のイコライザーが内蔵されています。
プリセットイコライザーは、ジャンルに合わせたトーンカーブを設定します。
ユーザーイコライザーは、3バンドで±8dBの範囲できめ細かく調整できます。

タイトル
DVDビデオディスクに記載されている映像や曲などを区切るいちばん大きな単位です。

チャプター
DVDビデオディスクにタイトルの内容を場面や曲ごとにさらに小さく区切った単位です。

トラック
CDに収録されている曲の区切り（曲分）をトラックと呼びます。各トラックに付けられた番号をトラックナンバーと呼びます。

仕様

モニター部

画面サイズ	DDX675	7.0V 型ワイド 156.6mm（幅）× 81.6mm（高さ）
	DDX375	6.1V型ワイド 136.2 mm（幅）× 72 mm（高さ）
表示方式		透過TN型
駆動方式		TFTアクティブマトリクス
画素数		1,152,000個　800H×480V×RGB
有効画素数		99.99%
画素配列		RGBストライプ配列
使用光源（照明方式）		LED

DVDプレーヤー部

D/Aコンバータ		24Bit
オーディオフォーマット		リニアPCM/Dolby Digital/MP3/WMA/AAC/WAV
ビデオフォーマット		MPEG1/MPEG2
ワウ&フラッター		測定限界以下
周波数特性	96kHzサンプリング時	20Hz～ 22,000Hz
	48kHzサンプリング時	20Hz～ 22,000Hz
	44.1kHzサンプリング時	20Hz～ 20,000Hz
高周波歪率		0.01%(1kHz)
S/N比		99dB (DVD-Video 96kHz)
ダイナミックレンジ		99dB (DVD-Video 96kHz)
ディスクフォーマット		DVD-Video/DVD-VR/VIDEO-CD/CD-DA/CPRM
サンプリング周波数		44.1kHz/48kHz/96kHz
量子化ビット数		16/20/24ビット 直線

USB I/F部

USB規格	USB2.0 Full Speed
ファイルシステム	FAT16/32
最大供給電流	DC5V ⎓ 1A
D/Aコンバータ	24Bit
オーディオフォーマット	MP3/WMA/AAC/WAV
ビデオフォーマット	MPEG1/MPEG2

FMチューナー部

受信周波数範囲（周波数ステップ）	76.0MHz～ 90.0MHz (100kHz)
実用感度（S/N：30dB）	9.3dBf (0.8μV/75Ω)
感度（S/N：50dB）	15,2dBf (1.6μV/75Ω)
周波数特性	30Hz～ 15kHz
S/N比	75dB (MONO)
選択度（±400kHz）	65dB以上
ステレオセパレーション	40dB (1kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲（周波数ステップ）	522kHz～ 1629kHz (9kHz)
実用感度（S/N：20dB）	28dBμV（25μV）

映像部

映像方式	NTSC
外部映像入力レベル（Φ3.5mm端子）	1Vp-p/75Ω
外部音声最大入力レベル（Φ3.5mm端子）	2V/25kΩ
外部映像入力レベル（RCA端子）	1Vp-p/75Ω
外部映像出力レベル（RCA端子）	1Vp-p/75Ω
外部音声出力レベル（Φ3.5mm端子）	1.2V/10kΩ

オーディオ部

最大出力		50W×4
定格出力		30W×4 (4Ω、1kHz、10%THD)
プリアウトレベル		4V/10kΩ
プリアウトインピーダンス		600Ω以下
スピーカーインピーダンス		4～8Ω
音質調整	Bass (低音)	100Hz±8dB
	Middle (中音)	1kHz±8dB
	Treble (高音)	12.5kHz±8dB

電源/寸法/質量

電源電圧		14.4V (10.5V～ 16V)
最大消費電流		10A
埋込寸法（W×H×D）		178mm×100mm×159mm
使用温度範囲		-10 ～+60℃
質量（重さ）	DDX675	2.5kg
	DDX375	2.0kg

付属部品

電源ハーネス	1本
延長ハーネス (2m)	1本
トラスネジ（M5×6 mm）	6本
サラネジ（M5×7 mm）	6本
セムスネジ（M4×8 mm）	1本

- これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。
- モニター部は、高精度の技術で作られておりますが、一部に非点灯、常時点灯の表示（画素）が存在することがあります。（故障ではありません。あらかじめご了承ください。）

商標

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

The "AAC" logo is a trademark of Dolby Laboratories.

Windows Media™は、米国 Microsoft Corporation の米国、およびその他の国における商標です。

DVD is a trademark of DVD format/Logo Licensing Corporation registered in the U. S. Japan and other countries.

"Made for iPod" and " Made for iPhone" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.

iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

iTunes is a trademark of Apple Inc.

Lightning is a trademark of Apple Inc.

Font for this product is designed by Ricoh.

This item incorporates copy protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights of Rovi Corporation. Reverse engineering and disassembly are prohibited.THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM.

保証とアフターサービス　（必ずお読みください）

保証について

保証書	この製品には、保証書を添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日･販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
保証期間	お買上げの日より **1 年**です。

修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

- **ホームページ**
  http://www2.jvckenwood.com/cs/service.html
- **JVCケンウッドカスタマーサポートセンター**
  フリーダイヤル 0120-2727-87
  携帯電話、PHSからは 045-450-8950 (受付時間などは裏表紙を参照してください。)

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(**P.64**)を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、本機の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。
あらかじめご了承ください。

保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。
本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後は…

お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。
補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

持込修理

この製品は持込修理とさせて頂きます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。(本機や一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。)
- 本機を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要になります。）

- 技術料： 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。
  技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代： 修理に使用した部品代です。
  その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

株式会社 JVCケンウッド

〒 221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

フリーダイヤル	0120-2727-87 携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8950
FAX	045-450-2308
住所	〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12
受付時間	月曜～金曜:　9:30～18:00 土曜:　9:30～12:00、13:00～17:30 (日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、当社ホームページ（http://www2.jvckenwood.com/cs/service.html）またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
- カスタマーサポートの向上のため、ユーザー登録（My-Kenwood）をお願いしています。
当社ホームページ内で登録ができます。なお、詳細につきましては、利用規約等を事前にお読みください。
https://jp.my-kenwood.com